

第 17 回 神奈川県安全性向上委員会

議事次第

日時：平成 31 年 1 月 23 日（水）15：00～17：00

場所：横浜国道事務所 2 F 大会議室

1. 開会

2. 挨拶

3. 出席者紹介

4. 議事

（1）神奈川県の事故・地域特性

（2）事故ゼロプラン

- ・事故ゼロプラン 2 期について
- ・事故ゼロプラン 2 期の進捗状況
- ・事故ゼロプラン 2 期の対策完了判定
- ・事故ゼロプラン 2 期の対策事例

（3）生活道路における交通事故対策

- ・対策エリアの概要
- ・横浜市の取り組み

（4）その他

- ・関係機関の取り組み
- ・今後の予定

5. 閉会

資料

- 設立趣意書
- 委員会規約
- 委員会名簿
- 資料-1 第 17 回 神奈川県安全性向上委員会

神奈川県安全性向上委員会

設立趣意書

平成17年12月

道路は生活に欠くことのできない社会基盤であり、この道路上では、人やモノの移動に伴い、移動手段（自動車、自転車、歩行など）、段をとりまく交通環境（道路構造、交通規制・制御、地形条件、気象・自然条件など）が絡み合うことにより、交通事故が発生し、生活や経済活動に多大なストレスと損害を生じさせている現実がある。このため、道路の安全性の向上を図ることは、道路行政として喫緊の課題である。

このような背景のもと、神奈川県内の安全性向上を図るにあたり、「神奈川県安全性向上委員会」を設立し、交通事故特性の分析、要対策箇所を選定及び要対策箇所の事故対策の立案を行い、これらを公表し、道路利用者の理解・協力ならびに注意喚起を図るものである。

神奈川県安全性向上委員会規約

(名称)

第1条 本会議は「神奈川県安全性向上委員会（以下、「委員会」という）」と称する。

(目的)

第2条 委員会は、神奈川県内の安全性向上について、公正・中立的な立場から、交通事故特性の分析、要対策箇所を選定及び要対策箇所の事故対策の立案を行い、これらを公表し、道路利用者の理解・協力ならびに注意喚起を図ることを目的とする。

(所掌事項)

第3条 委員会は、前条の目的を達成するために、以下の事項について実施するものとする。

- (1) 交通事故特性の分析
- (2) 要対策箇所を選定方針の立案及び、選定方針の修正並びに要対策箇所を選定
- (3) 要対策箇所の事故対策の立案、整備効果の検証
- (4) その他必要な事項

(構成)

第4条 委員会は、別紙に掲げる委員で構成する。

- 2 委員の追加・変更は、委員会の承認を要するものとする。

(第三者性)

第5条 委員は、委員会の目的に照らし、公正・中立な立場から特定の行政機関及び特定利害関係者等の利害を代表してはならない。

(委員の任期)

第6条 委員の任期は、委員会の所掌事項を完了するまでとする。

(委員長)

第7条 委員会には委員長をおくものとする。

- 2 委員長が職務を遂行できない場合は、予め委員長から指名する委員がその職務を代理する。
- 3 委員長は、必要に応じて委員以外の関係者の出席を求めることができる。

(委員会の運営)

第8条 委員会は、委員長の発議に基づいて開催する。

- 2 委員会は、委員会の運営にあたり必要な資料等を事務局に求めることができる。

(守秘義務)

第9条 委員は、個人情報など公開することが望ましくない情報を漏らしてはならない。

(委員会資料の公開)

第10条 委員会に提出された資料は、公開の対象とする。

(事務局)

第11条 事務局は、国土交通省関東地方整備局横浜国道事務所交通対策課及び調査課に置くものとする。

(その他)

第12条 この規約に定めるもののほか必要な事項は、その都度審議して定めるものとする。また、本規約の改正等は、本委員会の審議を経て行うことができるものとする。

付則 この規約は、平成30年1月24日から施行する。

神奈川県安全性向上委員会 委員名簿

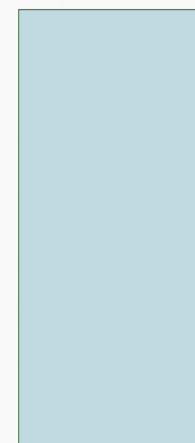
◎ 東洋大学 国際学部 国際地域学科 教授	岡村 敏之
横浜国立大学大学院	
都市イノベーション研究院 准教授	田中 伸治
(一社) 神奈川県安全運転管理者会連合会 専務理事	田川 晶士
(一財) 横浜市交通安全協会 専務理事	木村 和夫
(一社) 川崎市交通安全協会 専務理事	小田 忠信
(一社) 神奈川県トラック協会 専務理事	石橋 廣
(一社) 神奈川県タクシー協会 常務理事	三上 弘良
(一社) 神奈川県バス協会 常務理事	小堤 健司
国土交通省 関東地方整備局 横浜国道事務所長	大江 真弘
国土交通省 関東地方整備局 川崎国道事務所長	山下 眞治
国土交通省 関東地方整備局 相武国道事務所長	外川 和彦
神奈川県警察本部交通部交通規制課長	井上 慧介
神奈川県くらし安全防災局くらし安全部	
くらし安全交通課長	秋本 剛
神奈川県県土整備局道路部道路管理課長	西山 俊昭
横浜市道路局道路部長	中村 信治
川崎市建設緑政局道路河川整備部長	太田 豊
相模原市都市建設局道路部長	佐久間 和彦
東日本高速道路株式会社 関東支社	
京浜管理事務所長	佐藤 雄彦
中日本高速道路株式会社 東京支社 保全・サービス事業部	
道路管制センター 交通管制チームリーダー	相良 健次
首都高速道路株式会社 神奈川管理局	
調査・環境課長	三村 啓子

◎ 委員長

(敬称略)

第17回 神奈川県安全性向上委員会

平成31年1月23日



目 次

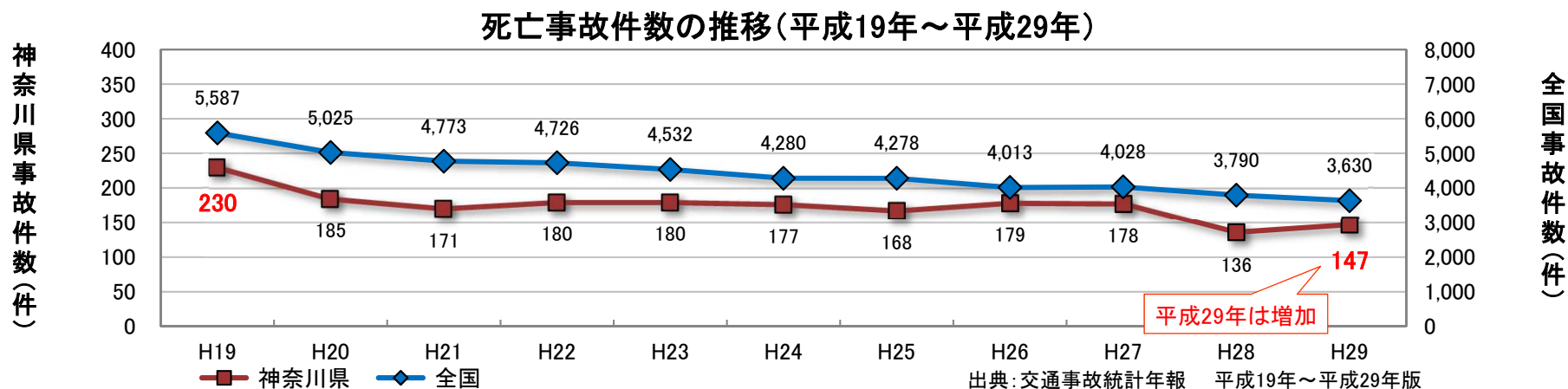
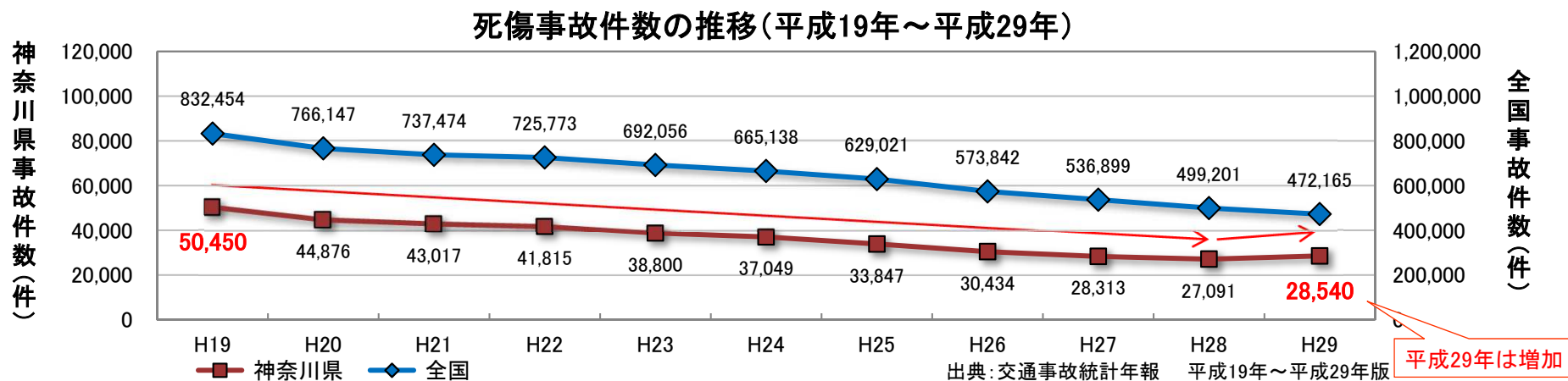
1. 神奈川県の実況・地域特性
2. 事故ゼロプラン
 - ・ 事故ゼロプラン2期について
 - ・ 事故ゼロプラン2期の進捗状況
 - ・ 事故ゼロプラン2期の対策完了判定
 - ・ 事故ゼロプラン2期の対策事例
3. 生活道路における交通事故対策
 - ・ 対策エリアの概要
 - ・ 横浜市の取り組み
4. その他
 - ・ 関係機関の取り組み
 - ・ 今後の予定

1. 神奈川県 of 事故・地域特性

1. 神奈川県の実況・地域特性

・神奈川県の実況発生状況

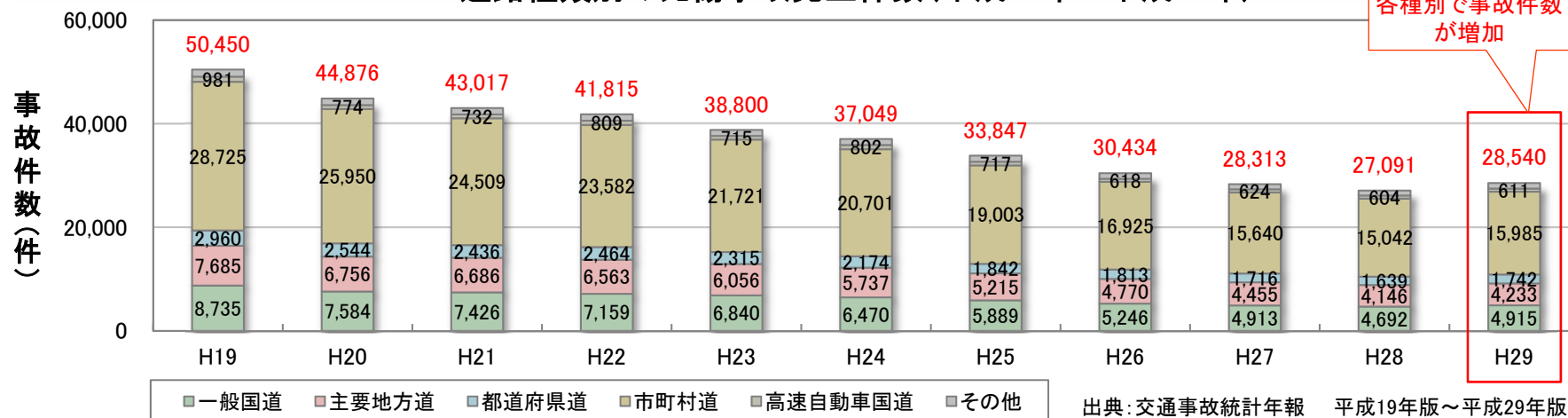
- ・死傷事故件数の推移は、平成19年から平成28年まで減少傾向であったが、平成29年に増加している。
- ・死亡事故件数の推移は、全国の減少傾向に比べ、神奈川県は平成22年から平成27年までは横ばい、平成28年で大きく減少したが、平成29年は増加している。



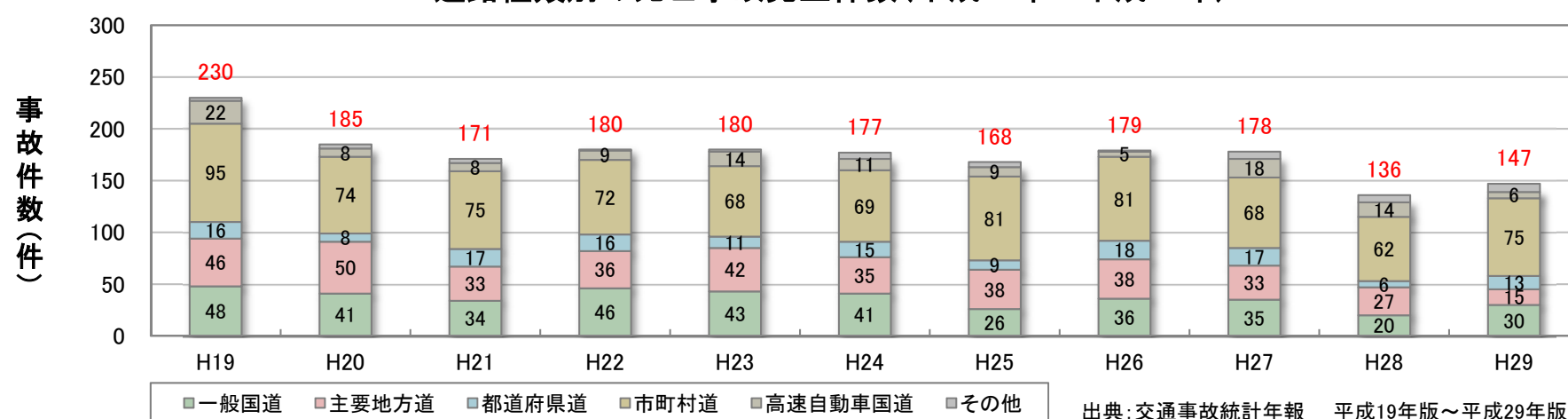
1. 神奈川県の実況・地域特性

- ・死傷事故件数の道路種類別の推移をみると、平成19年から平成28年までは何れの道路種別とも減少傾向だったが、平成29年は何れの道路種別とも増加している。

道路種類別の死傷事故発生件数(平成19年～平成29年)



道路種類別の死亡事故発生件数(平成19年～平成29年)

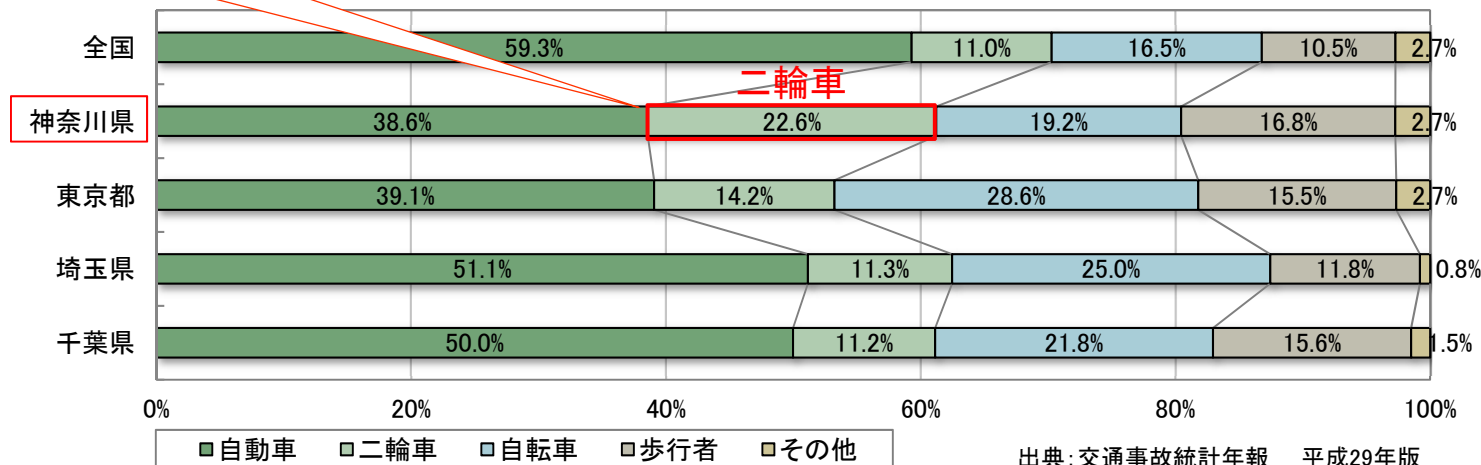


1. 神奈川県の実況・地域特性

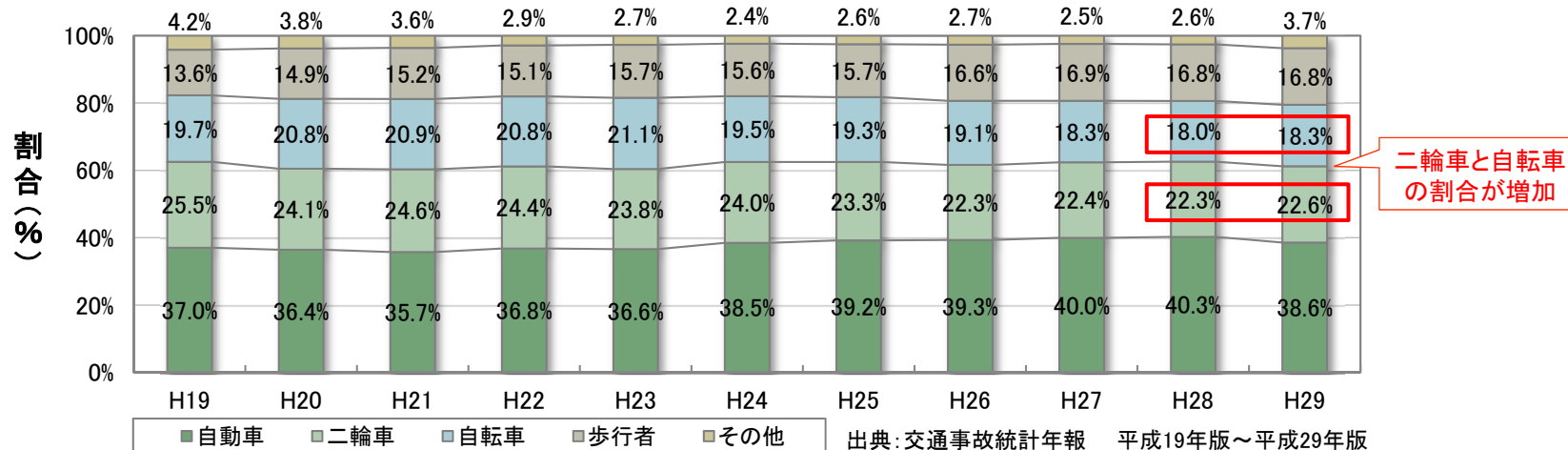
- ・ 事故の当事者（第2当事者）をみると、全国と比べて神奈川県は二輪車の割合が高い。
- ・ 平成29年は平成28年に比べ、二輪車と自転車の割合が増加している。

他県に比べ、二輪車の割合が高い

第2当事者の死傷事故件数割合（平成29年）



第2当事者別の死傷事故発生割合の推移（平成19年～平成29年）

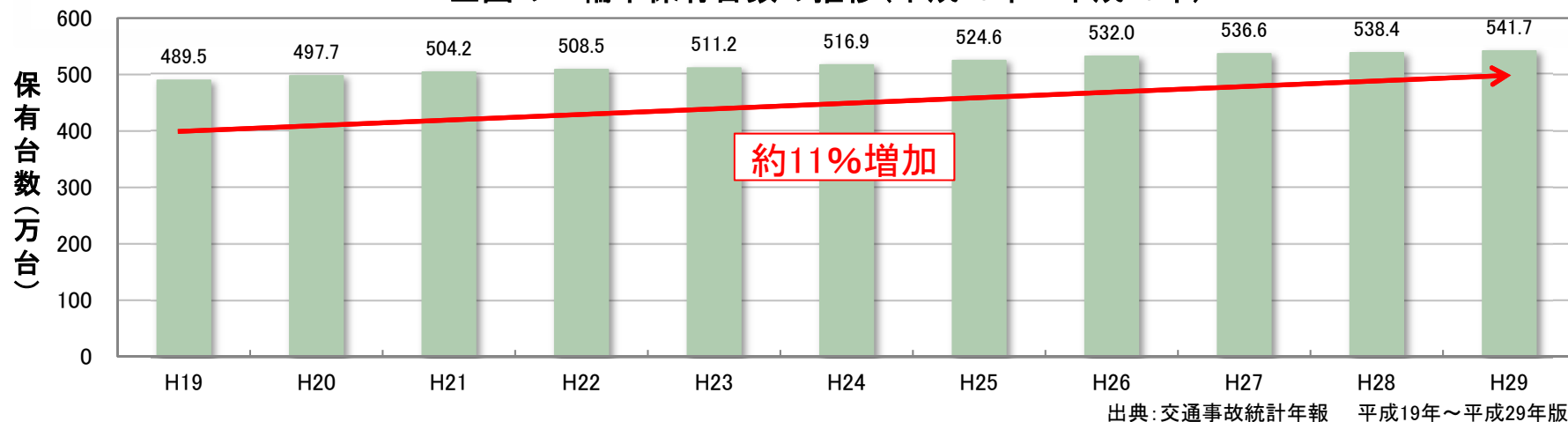


二輪車と自転車の割合が増加

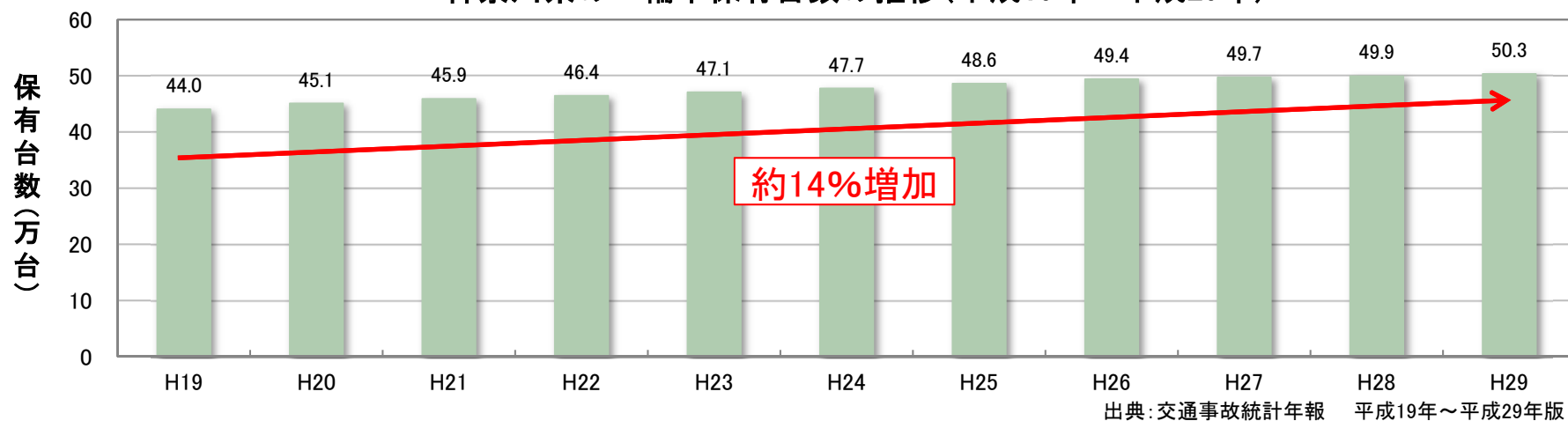
1. 神奈川県の記事・地域特性

・二輪車の保有台数は、ここ10年で全国は11%増加しているのに対し、神奈川県は14%増加している。

全国の二輪車保有台数の推移(平成19年～平成29年)



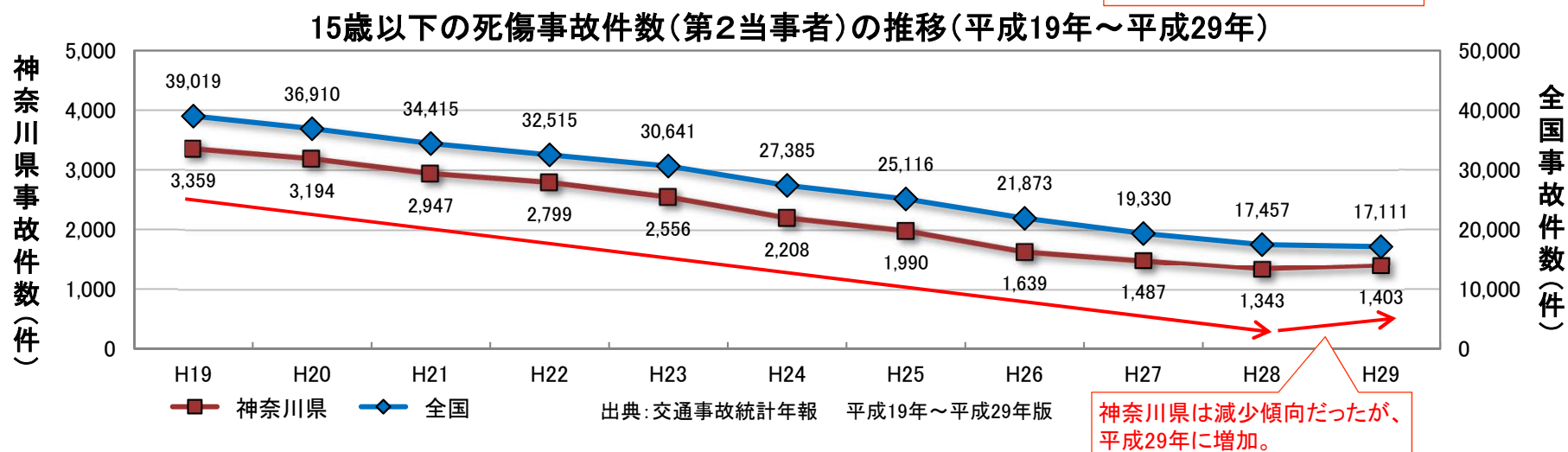
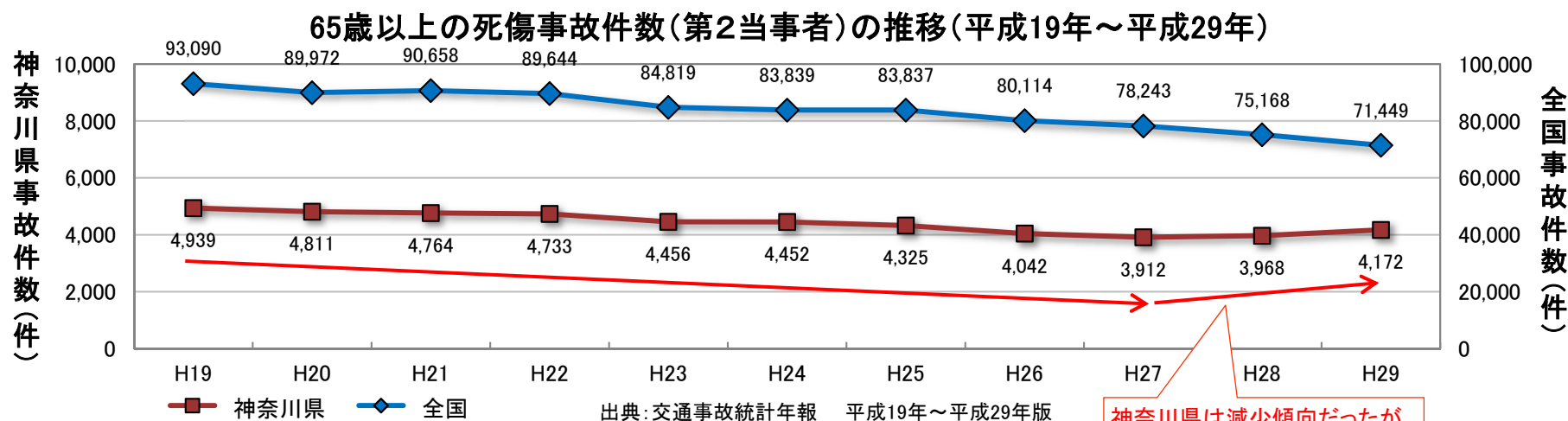
神奈川県の二輪車保有台数の推移(平成19年～平成29年)



※集計には原付2種は含まれ、原付は含まれない

1. 神奈川県の実況・地域特性

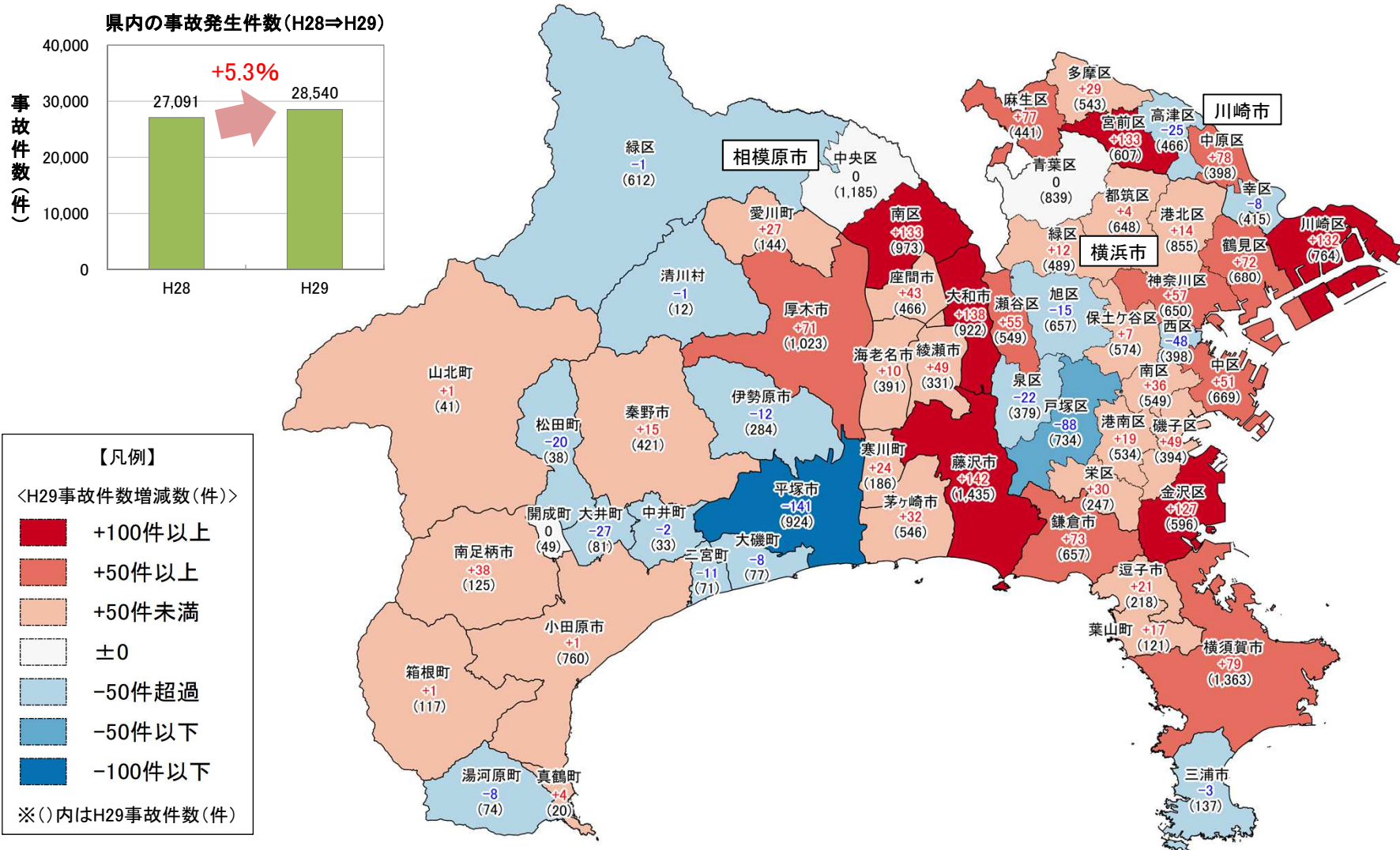
- ・高齢者(65歳以上)の事故件数は、神奈川県では平成28年から増加に転じている。
- ・子ども(15歳以下)の事故件数は、神奈川県・全国とも平成28年までは減少傾向であったが、神奈川県は平成29年に増加となった。



1. 神奈川県の実況・地域特性

■市区町村別 事故発生件数の増減数(平成28年⇒平成29年)

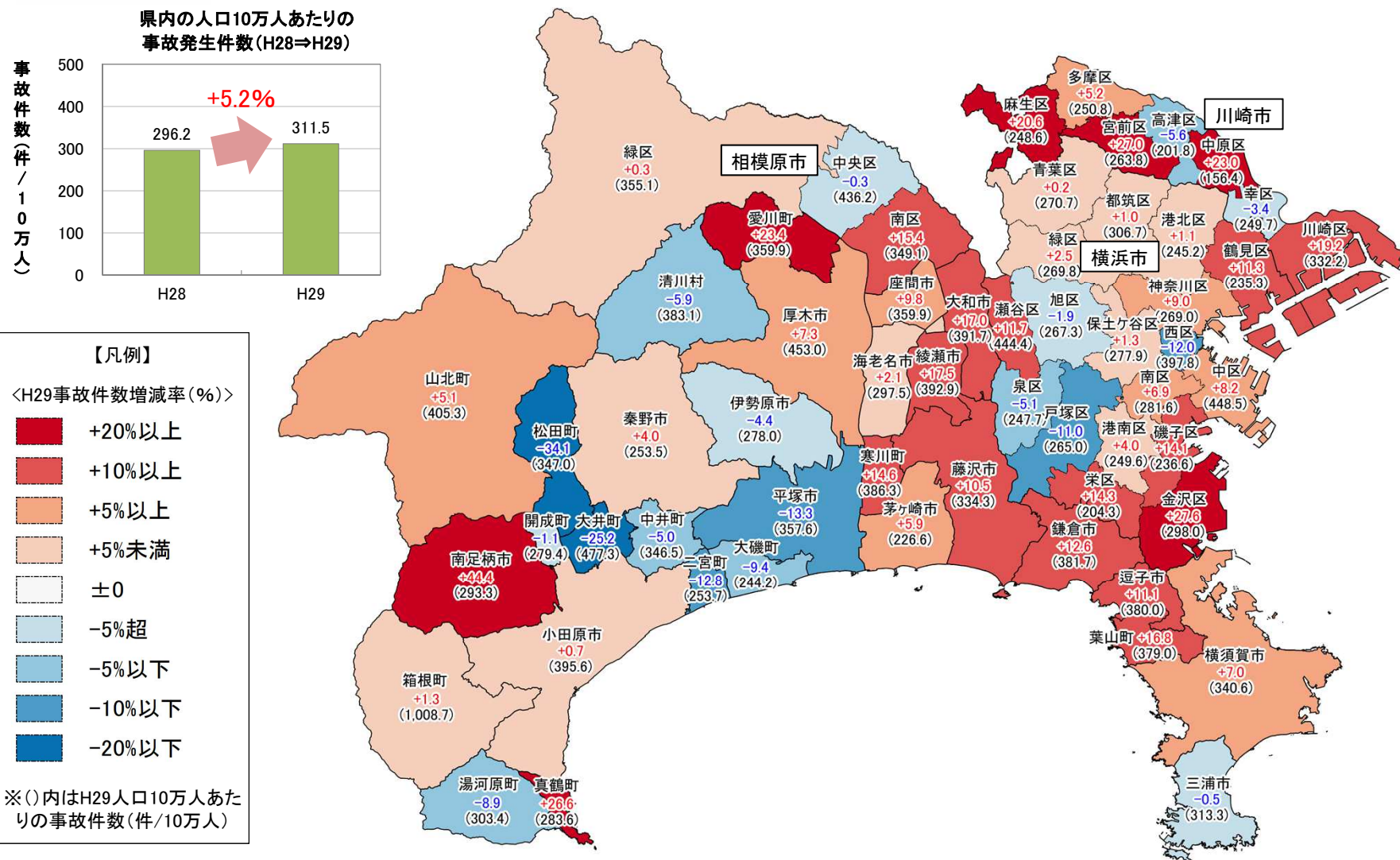
・市区町村別に事故件数の増減数を見ると、横浜市金沢区、川崎市の川崎区・宮前区、相模原市南区、大和市、藤沢市が大きく増加している。反対に、平塚市は大きく減少している。



1. 神奈川県内の事故・地域特性

■市区町村別 人口10万人あたりの事故発生件数の増減率(平成28年⇒平成29年)

・市区町村別に人口10万人あたりの事故件数の増減率を見ると、横浜市金沢区、川崎市の中原区・宮前区・麻生区、南足柄市、真鶴町、愛川町が大きく増加している。



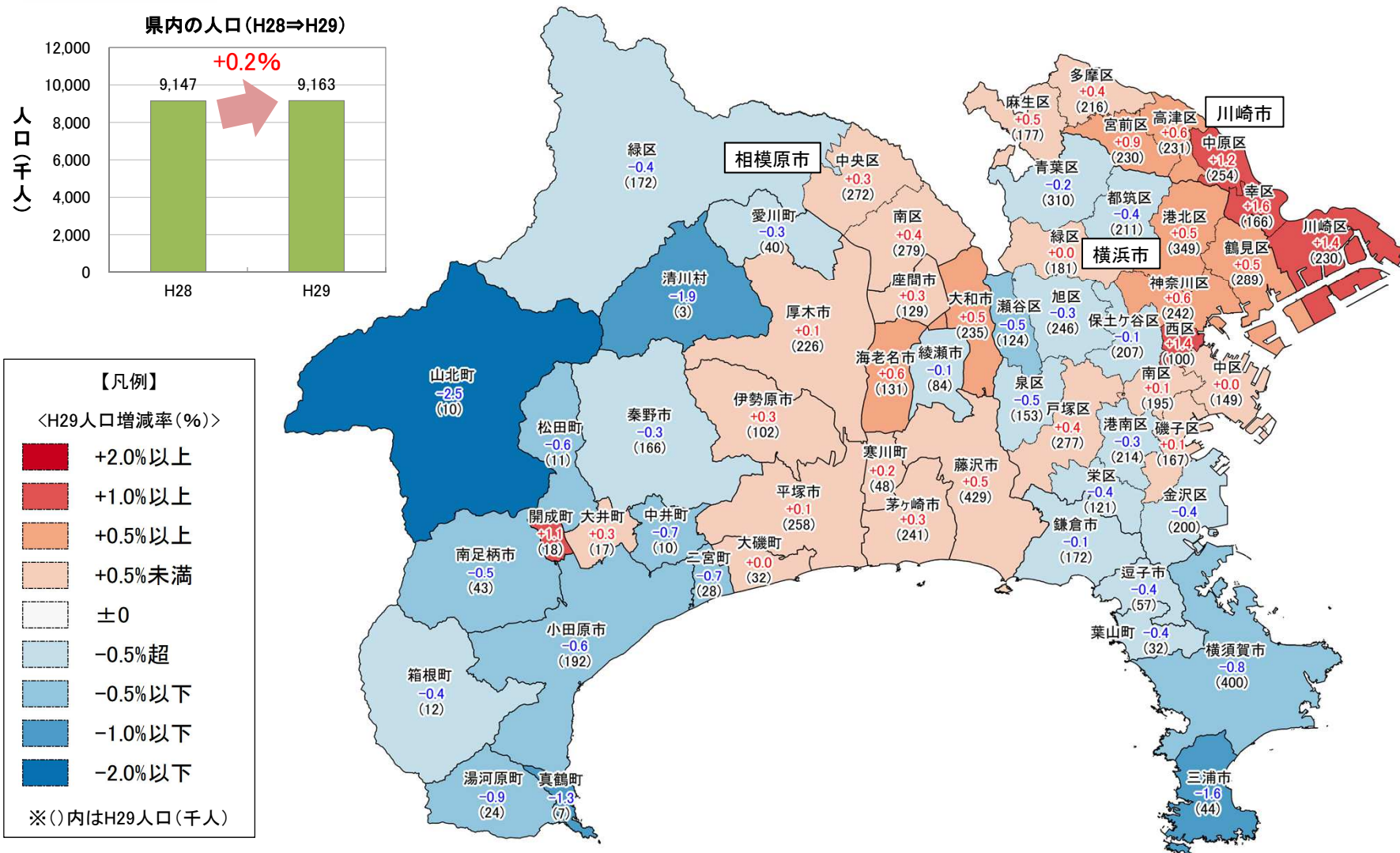
10

1. 神奈川県の記事・地域特性

参考

■市区町村別 人口の増減率(平成28年⇒平成29年)

・市区町村別に人口の増減率を見ると、横浜市西区、川崎市の川崎区・幸区・中原区、開成町が大きく増加している。



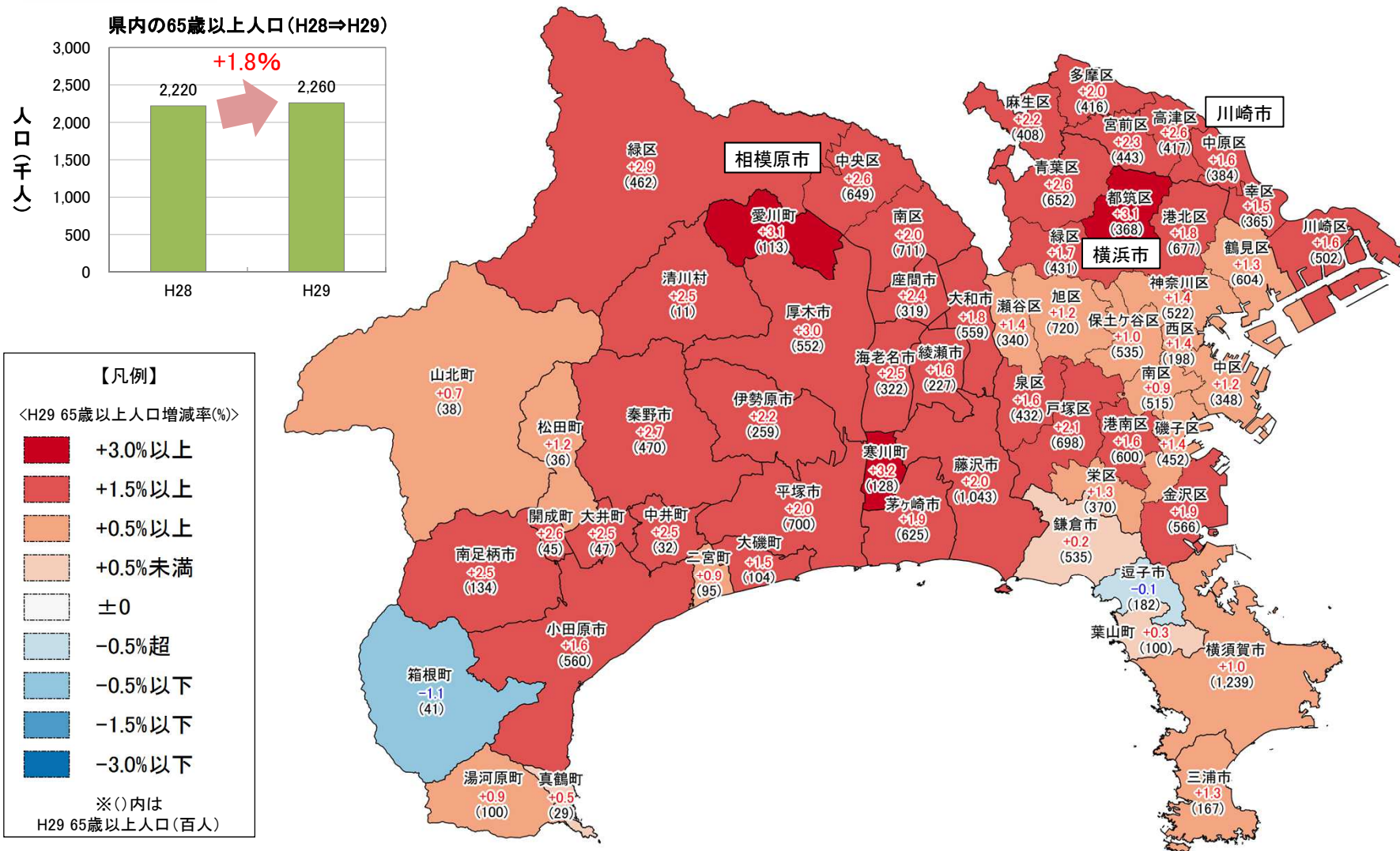
出典：神奈川県年齢別人口統計調査結果表 平成28年、平成29年

1. 神奈川県の記事・地域特性

参考

■市区町村別 65歳以上の人口増減率(平成28年⇒平成29年)

- ・市区町村別に65歳以上の人口増減率を見ると、逗子市と箱根町を除く市区町村で増加している。特に横浜市都筑区、愛川町、寒川町が大きく増加している。



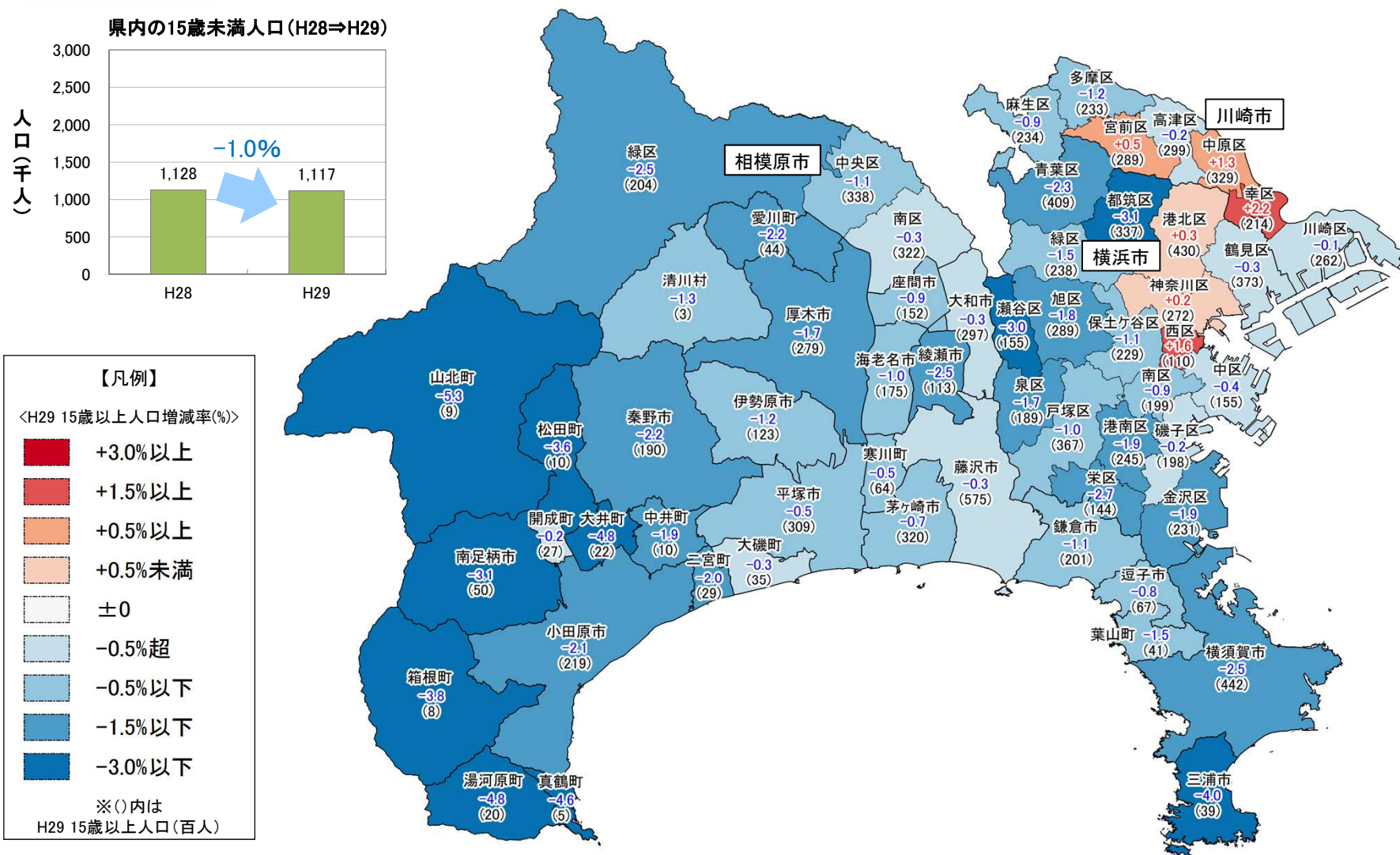
出典：神奈川県年齢別人口統計調査結果 平成28年、平成29年

1. 神奈川県の記事・地域特性

参考

■市区町村別 15歳未満の人口増減率(平成28年⇒平成29年)

・市区町村別に15歳未満の人口増減率を見ると、横浜市と川崎市の一部の区を除く市区町村で減少している。特に山北町、大井町、湯河原町、真鶴町、三浦市が大きく減少している。



出典：神奈川県年齢別人口統計調査結果 平成28年、平成29年

1. 神奈川県の実況特性（交通マナー）

参考

交通マナーに関するアンケート調査

【調査内容】

ドライバー自身の交通ルール・運転マナーと周辺のドライバーの運転マナー
（自分が住んでいる都道府県）について、聞いたものである。



【調査概要】

調査期間：2016年6月15日～30日

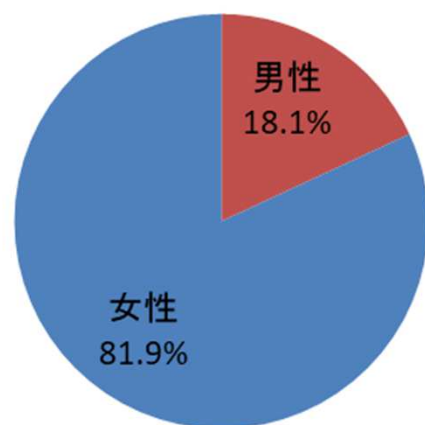
調査対象：全国の自動車ユーザー

調査方法：インターネットによるオンラインアンケート（※JAFホームページを活用）

有効回答者数：64,677名（うち、神奈川県の構成比が7.5%、回答者数が4,851名）

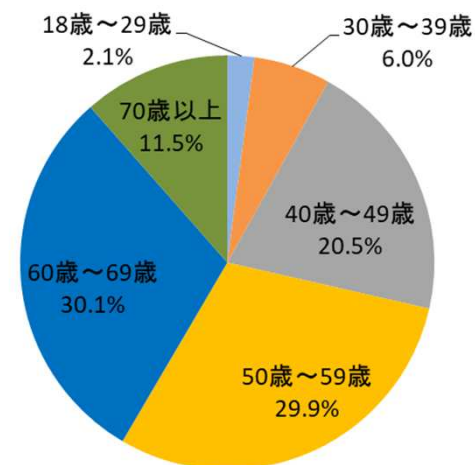
【回答者属性】

■性別



n=64,677

■年代別



n=64,677

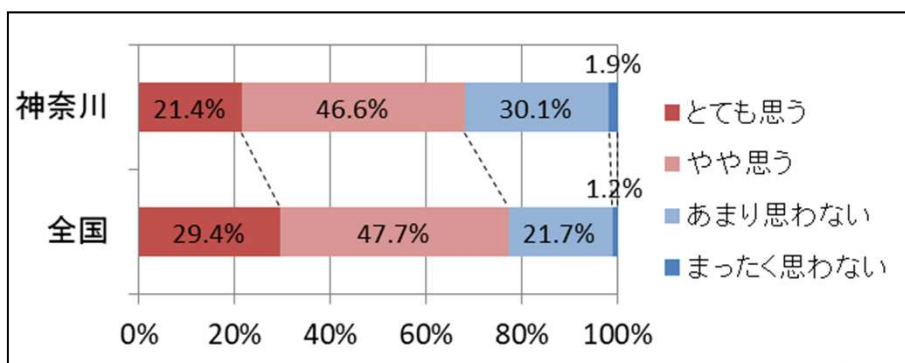
1. 神奈川県の実況特性（交通マナー）

参考

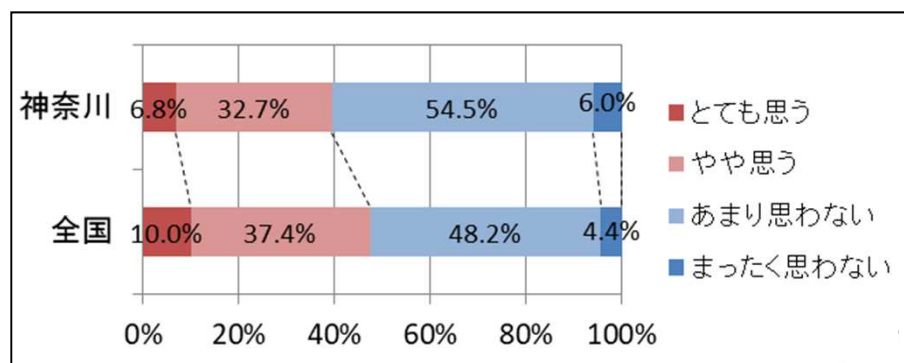
交通マナーに関するアンケート調査

神奈川県では「交通マナーが良い」と思っている人は、全国と比べて7.3%高くなっている。

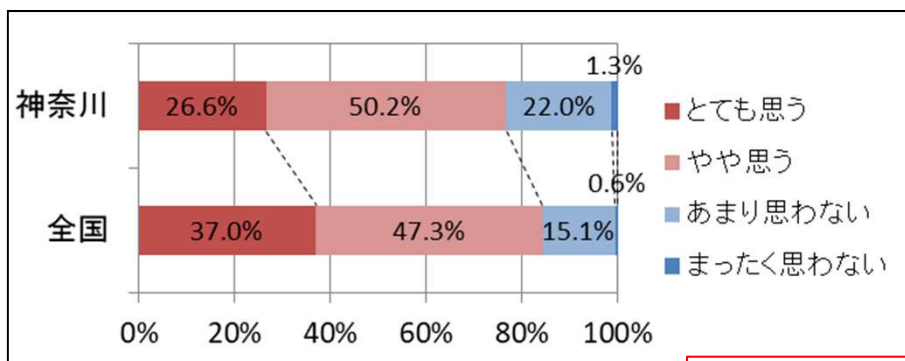
方向指示器（ウィンカー）を出さずに車線変更や右左折する車が多い。



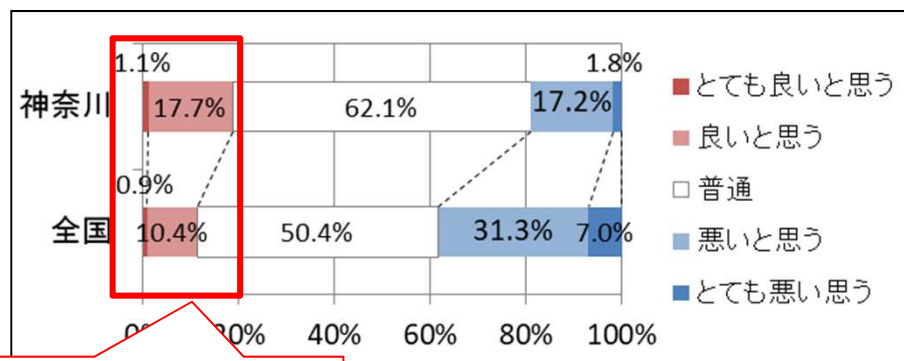
前方の信号機が「青」になる前に発進する車が多い。



運転中に携帯電話（スマホ含む）を使用しているドライバーが多い。



あなたのお住まいの都道府県の全般的な交通マナーについて、どう思いますか？



全国に比べて、神奈川県では交通マナーが良いと思う人は、7.3%多い。

2. 事故ゼロプラン

<事故ゼロプラン2期について>

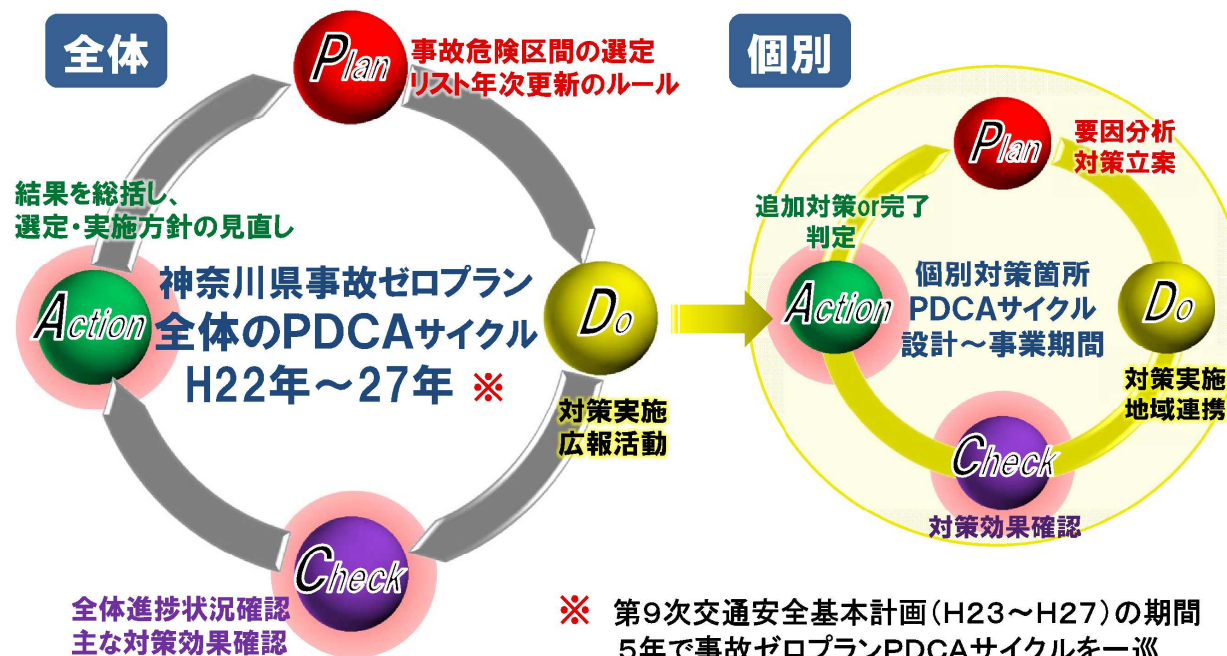
2. 事故ゼロプラン

・事故ゼロプランルールの振り返りー1

- ・事故ゼロプランは、5年サイクルで取り組んでおり、「全体」と「個別」で構成されている。

1. 4 事故ゼロプランの現状

- ・事故ゼロプランでは、『事故ゼロプラン全体』と『個別対策箇所』のそれぞれにPDCAサイクルを適用し、効果的・効率的に推進しています。
- ・事故ゼロプラン開始から4年目を迎え、PDCAサイクルのうち、着実にDo(対策実施)を進めつつ、Check(進捗・対策効果確認)の段階に入ってきています。
- ・また、今度の展開を見据えると、Action(総括・見直し)に関する審議も必要です。



5

2. 事故ゼロプラン

・事故ゼロプランの振り返りー2

- ・事故ゼロプランの年次更新（追加）ルールとして、「神奈川県安全対策協議会（事故対策区間（地点））」と地域の声「新たな地域要望」、事故危険箇所の3つのルールがある。

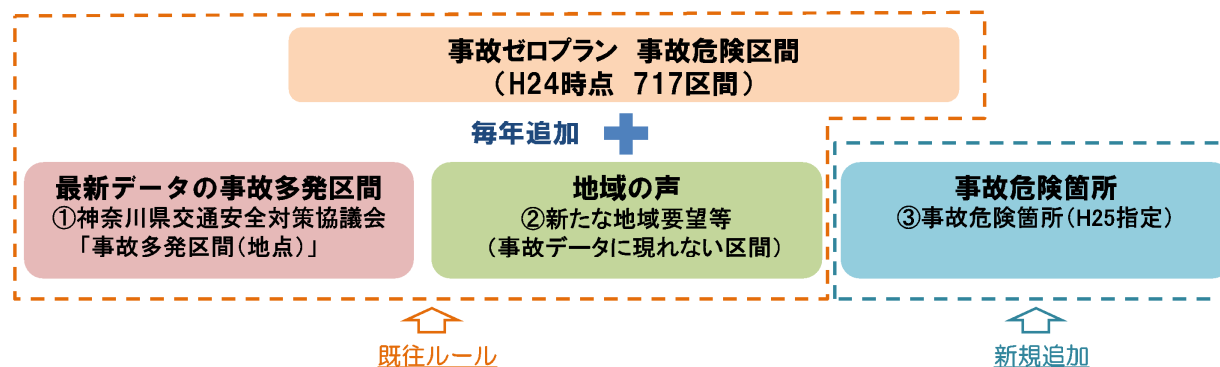
4. 3 事故危険区間の年次更新（追加）ルールの改正

【審議事項】

年次更新(追加)ルールの改正(案)

- ・H23年第9回委員会にて、事故危険区間に最新状況を反映することを勘案し、
 - ①神奈川県交通安全対策協議会「事故多発区間(地点)」
 - ②新たな地域要望等の区間を毎年リストに追加する「**年次更新(追加)ルール**」が承認されています。
- ・H25年から、第三次の事故危険箇所への取組が開始されたことを踏まえ、
 - ③**事故危険箇所(H25指定)**を**事故危険区間**リストに追加するルールに改正することを審議していただきます。

■事故危険区間の年次更新(追加)ルールの改正(案)

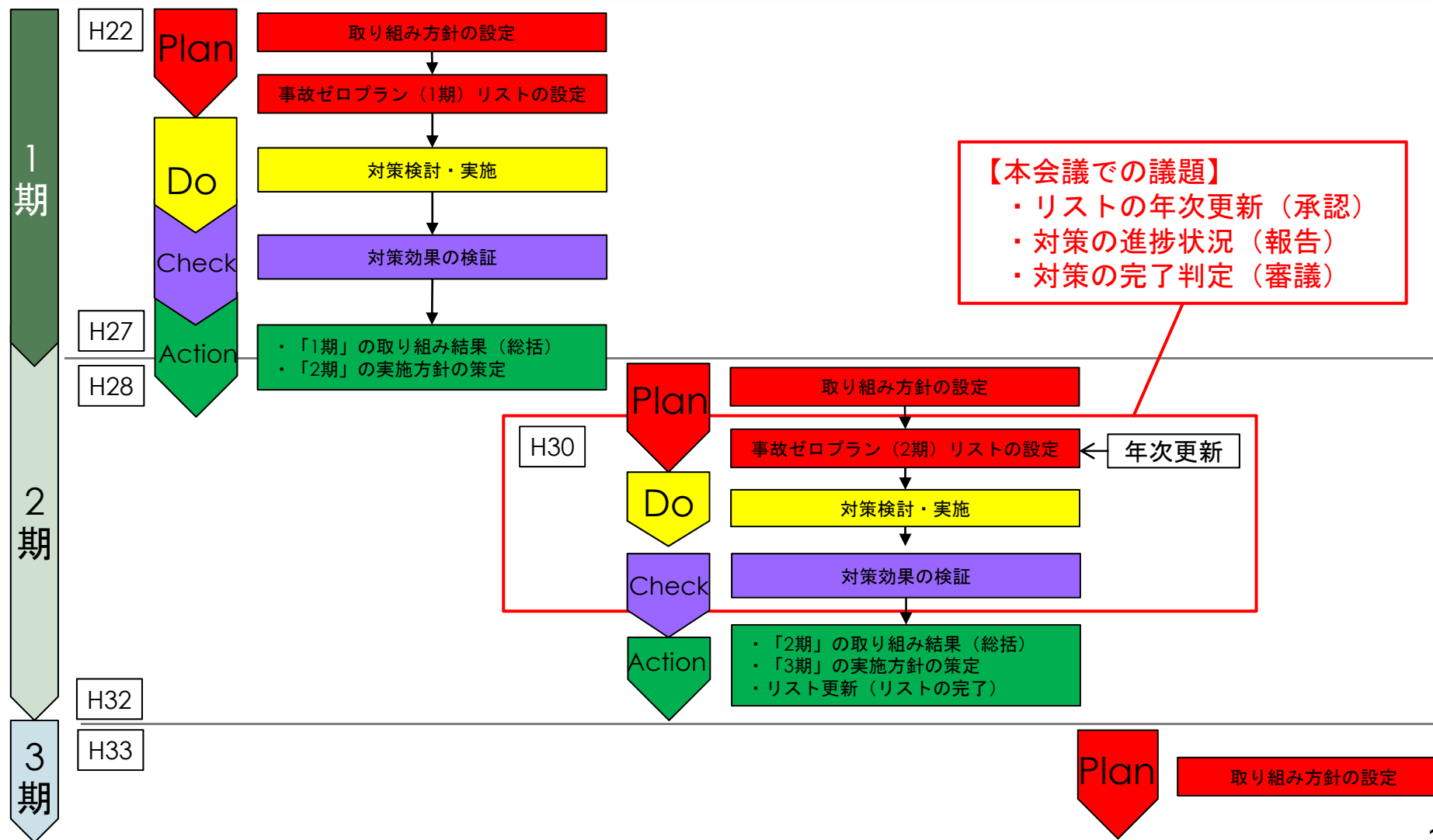


36

2. 事故ゼロプラン

・事故ゼロプラン2期

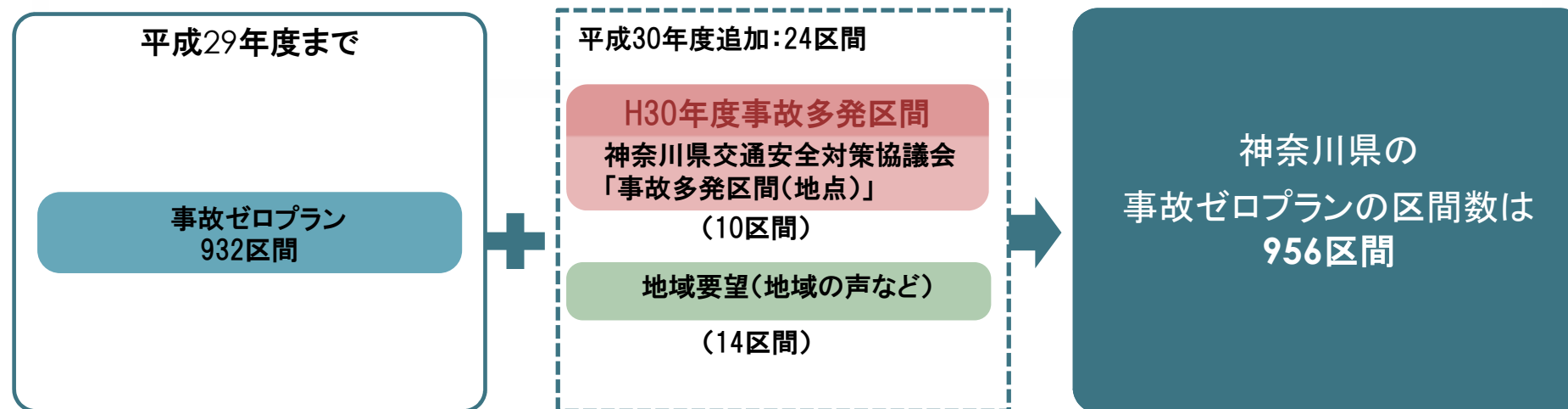
・平成22年～平成27年まで進めた事故ゼロプラン（1期）は終わり、現在、事故ゼロプラン（2期）に取り組んでいる。事故ゼロプランのルールに基づき、5年経過する平成32年に総括を予定している。



2. 事故ゼロプラン

・事故ゼロプラン2期の年次更新区間の登録

【承認事項】：年次更新区間の登録



	2期 事故ゼロプラン								合計 ※重複区間 を除く	
	1期 区間	死傷事故 率上位	事故 特性	事故多発 区間	地域要望		事故危険箇所			計
					地域の声	ヒヤリ ハット	抽出 基準 A	抽出 基準 B		
横浜国道	168	118	62	25(+3)	55	4	22	35	490	385(+3)
相武国道	69	11	1	24	10(+10)	0	1	2	118	104(+10)
神奈川県	98	43	1	24(+7)	1(+1)	0	18	0	184	172(+8)
横浜市	47	140	82	3	0	0	10	0	282	193
川崎市	18	39	21	5	2(+2)	1	3	3	92	65(+2)
相模原市	12	16	6	2	1(+1)	0	5	0	42	37(+1)
合計	412	367	173	83(+10)	69(+14)	5	59	40	1208	956

2. 事故ゼロプラン

・事故ゼロプラン今年度追加区間

【承認事項】：年次更新区間の登録

・平成30年度に追加する24区間を以下に示す。

No	道路 管理者	道路種別	路線 番号	事故多発 区間	地域要望	区間名称	備考
1	横浜国道	一般国道	1	●		こゆるぎハイツ入口交差点	【追加】H30事故多発区間
2	横浜国道	一般国道	246	●		平沢交差点	【追加】H30事故多発区間
3	横浜国道	一般国道	1	●		UR川崎旭町ハイツ前	【追加】H30事故多発区間
4	相武国道	一般国道	16		●	上鶴間本町9丁目(単)	【追加】H30地域要望
5	相武国道	一般国道	16		●	上鶴間本町1丁目(単)(谷口陸橋付近)	【追加】H30地域要望
6	相武国道	一般国道	16		●	上鶴間本町1丁目(単)(相模大野二丁目交差点付近)	【追加】H30地域要望
7	相武国道	一般国道	16		●	老人ホーム入口交差点	【追加】H30地域要望
8	相武国道	一般国道	16		●	(仮)清新4丁目-8	【追加】H30地域要望
9	相武国道	一般国道	16		●	南大野小学校前交差点	【追加】H30地域要望
10	相武国道	一般国道	16		●	東林間入口交差点	【追加】H30地域要望
11	相武国道	一般国道	16		●	谷口陸橋下交差点	【追加】H30地域要望
12	相武国道	一般国道	16		●	鹿沼公園入口交差点	【追加】H30地域要望
13	相武国道	一般国道	16		●	(仮)南橋本一丁目(JR相模線陸橋南詰)	【追加】H30地域要望
14	神奈川県	一般国道	1	●		箱根宮ノ下(宮ノ下交番前)	【追加】H30事故多発区間
15	神奈川県	一般国道	255	●		大井町金子347(インター前交差点)	【追加】H30事故多発区間
16	神奈川県	主要地方道(県道)	43	●		厚木市中町2-13-2(中町交差点)	【追加】H30事故多発区間
17	神奈川県	一般県道	508	●		厚木市上依知2765-1(依知神社前交差点)	【追加】H30事故多発区間
18	神奈川県	主要地方道(県道)	50	●		大和市中央林間西6-1-1	【追加】H30事故多発区間
19	神奈川県	主要地方道(県道)	42	●		座間市座間2-2243から同新宿1590-1	【追加】H30事故多発区間
20	神奈川県	一般県道	407	●		海老名市杉久保南1-24-10	【追加】H30事故多発区間
21	神奈川県	一般国道	255		●	飯泉～水道企業団地入口交差点	【追加】H30トラック協会要望
22	川崎市	一般国道	132		●	夜光交差点	【追加】H29トラック協会要望
23	川崎市	主要地方道(県道)	6		●	首都高速道路浜川崎出入り口付近	【追加】H30トラック協会要望
24	相模原市	主要地方道(県道)	63		●	橋本台一丁目	【追加】H29トラック協会要望

道路環境改善箇所提案書

道路利用者（トラック事業者）からの意見
【5箇所】



一般社団法人
神奈川県トラック協会

KANAGAWA TRUCKING ASSOCIATION

➤ 道路環境改善提案箇所①

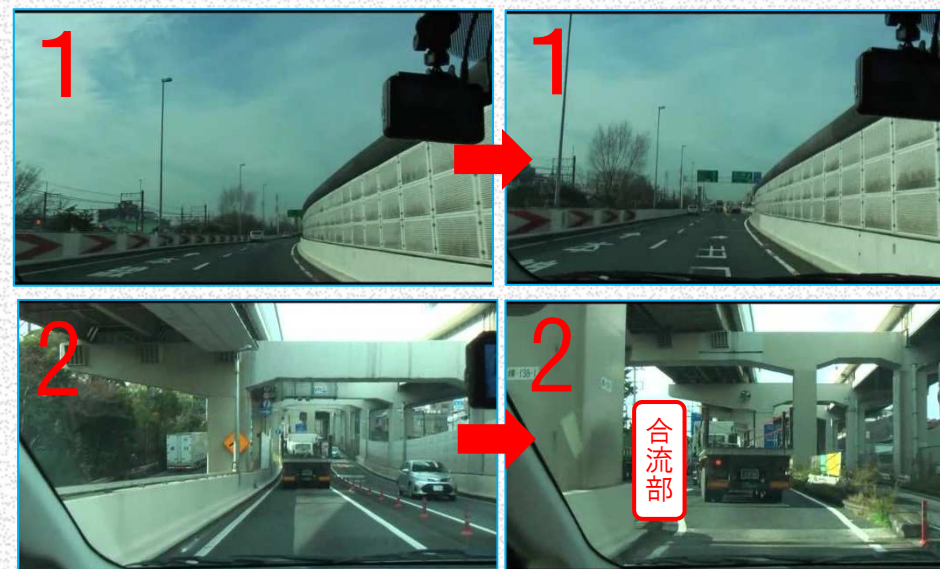
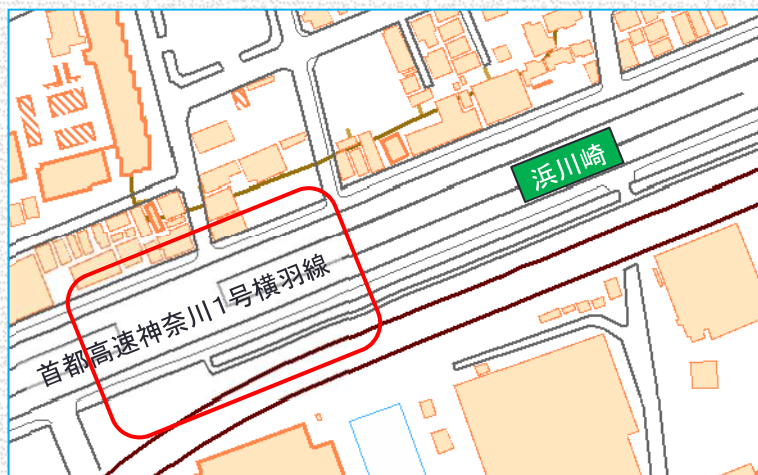
●対象箇所の詳細

道路管理者	市町村	交差点名称	道路種別	路線番号	区間詳細
首都高速 川崎市	川崎市川崎区浜町	浜町	主要地方道	6	首都高速 浜川崎出口付近

●対象箇所の理由

1	大師方面から走行し浜川崎出口から出ようとした場合、当該出口は緩いカーブの先に突然出現し、戸惑いつつ右に急ハンドルを切る印象がある。路面上に「出口」の標示はあるが、カーブ手前に「カーブの先出口」等の表示をすることにより、事前に注意を促すような改善の検討をお願いしたい。
2	浜川崎出口から一般道への合流について、アプローチが短い割に十分に減速しない車両が多い。そこで、合流手前の路面上に「合流・減速」の注意喚起の表示を行い、また、合流する一般道にも同様の措置を検討願いたい。

●対象箇所の状況



➤ 道路環境改善提案箇所②



一般社団法人
神奈川県トラック協会

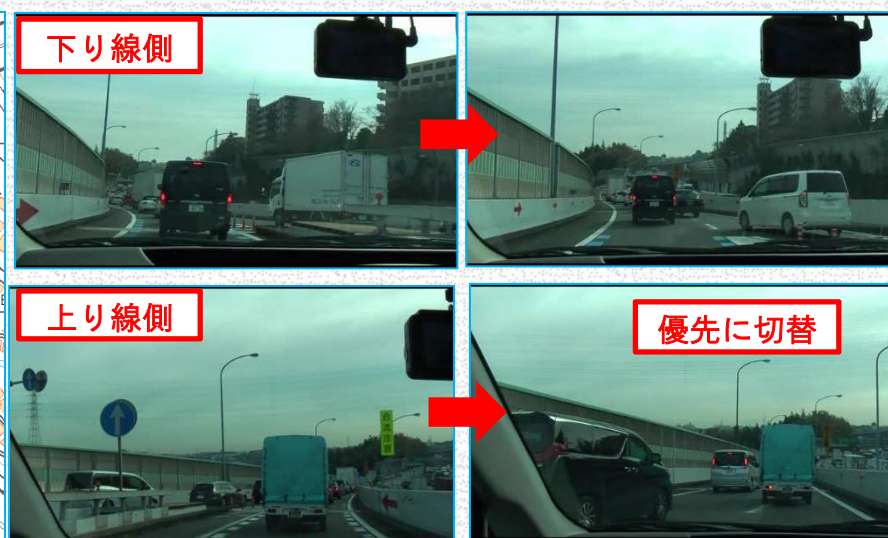
●対象箇所の詳細

道路管理者	市町村	交差点名称	道路種別	路線番号	区間詳細
NEXCO 東日本	横浜市保土ヶ谷区藤塚	-	横浜新道	-	横浜新道 新保土ヶ谷IC合流地点

●対象箇所の理由

1	「横浜新道上り線から横横道路方面へ向かう道路」と「横浜新道下り線から横横道路方面へ向かう道路」の合流部では、下り線側が合流の優先となっている。しかし、上り線側は、合流部に近づくにつれて運転席から下り線側の状況確認が難しくなっていくが、一方で下り線側は、運転席から上り線側が終始見通し易い状況にある。そこで、下り線側の優先を上り線側に替えることにより、合流部における安全確保を検討願いたい。
---	--

●対象箇所の状況



######

➤ 道路環境改善提案箇所④



一般社団法人
神奈川県トラック協会

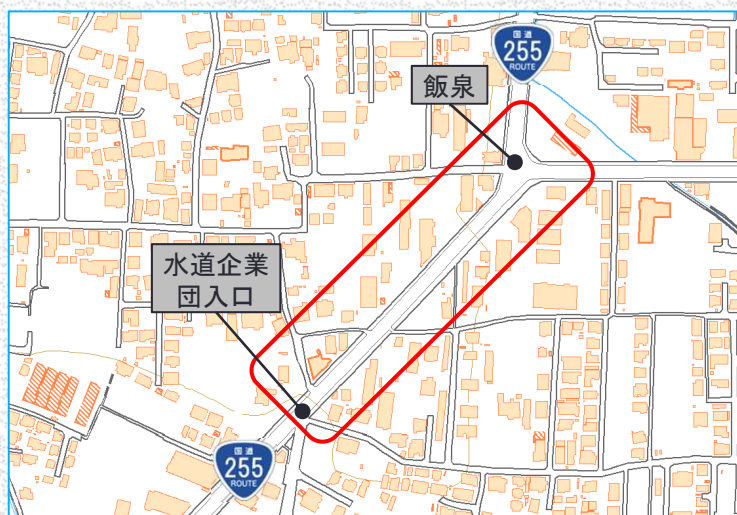
●対象箇所の詳細

道路管理者	市町村	交差点名称	道路種別	路線番号	区間詳細
神奈川県	小田原市飯泉	飯泉	一般国道	255	飯泉から水道企業団入口交差点

●対象箇所の理由

- 当該箇所（区間）は、大型車の交通量が多い割には道路の幅員が狭い（2.8m程度）状況にあるなか、歩道上にある街路樹が車道に傾いているため、トラックのサイドミラーが樹木に接触して破損するといったことが発生し、また、表示板等による表示も見えにくい状況にある。更には、電線等が樹木の枝を縫うような状況となっている。そこで、街路樹の撤去により、歩道も含めた全体的な見通しの良さを確保し、表示内容の効果や運転時ストレスの緩和による事故抑止を図られたい。

●対象箇所の状況



2. 事故ゼロプラン

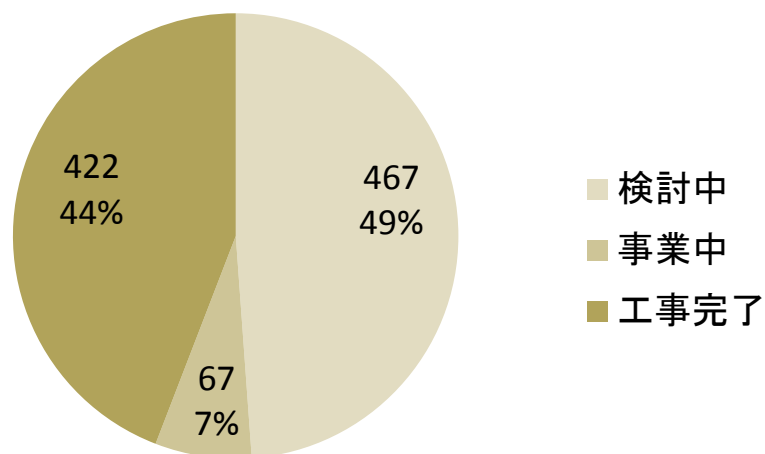
＜事故ゼロプラン2期の進捗状況＞

2. 事故ゼロプラン

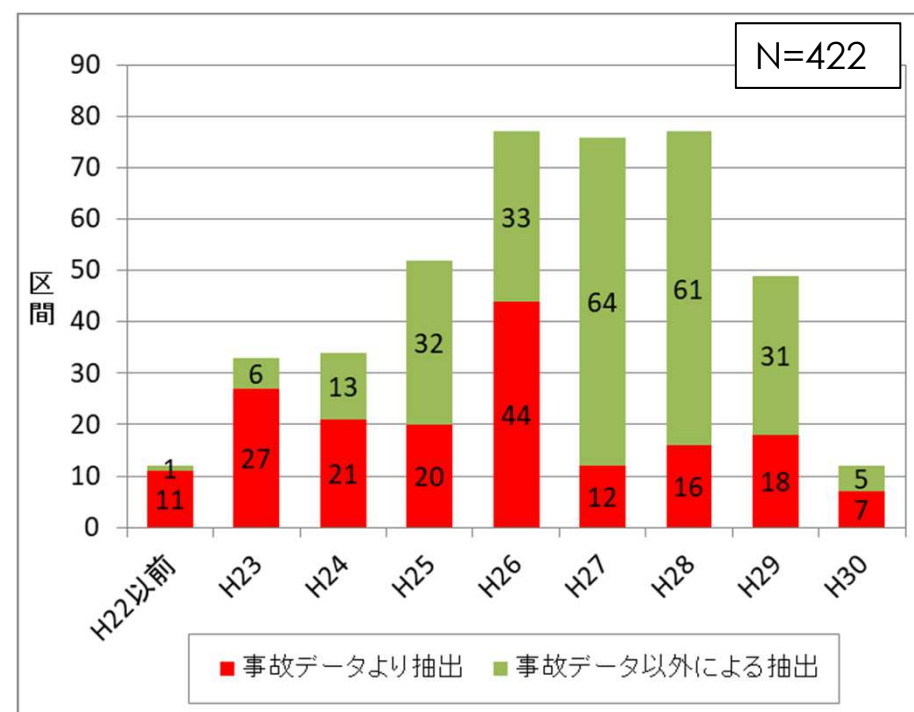
・事故ゼロプラン2期の工事完了状況

- ・事故ゼロプラン2期の956区間について、現時点で工事完了の区間が422区間(44%)となっている。
- ・毎年、着実に対策実施が進んでいる。

工事完了率



工事完了区間数の推移



2. 事故ゼロプラン

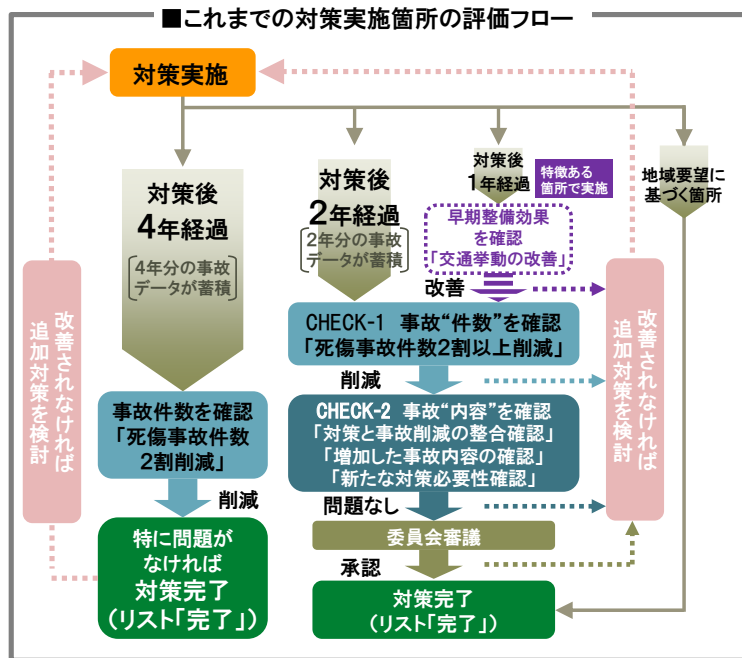
＜事故ゼロプラン2期の対策完了判定＞

2. 事故ゼロプラン

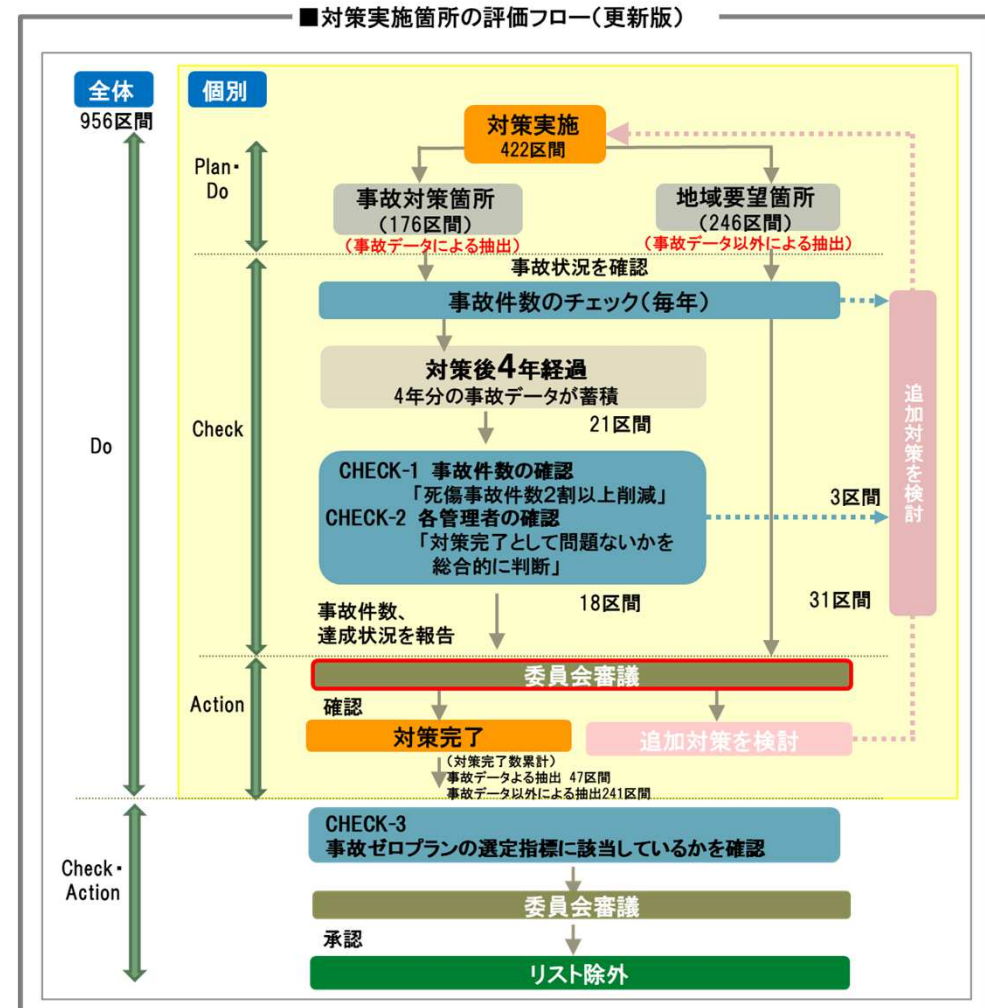
・事故ゼロプラン2期の対策完了判定について

【審議事項】：対策完了ルール

- これまで、対策実施箇所の対策完了(完了判定)は3つのルールがあった。
- 今回、対策後4年経過に統一し、対策完了とリスト除外のルールを明確にした。



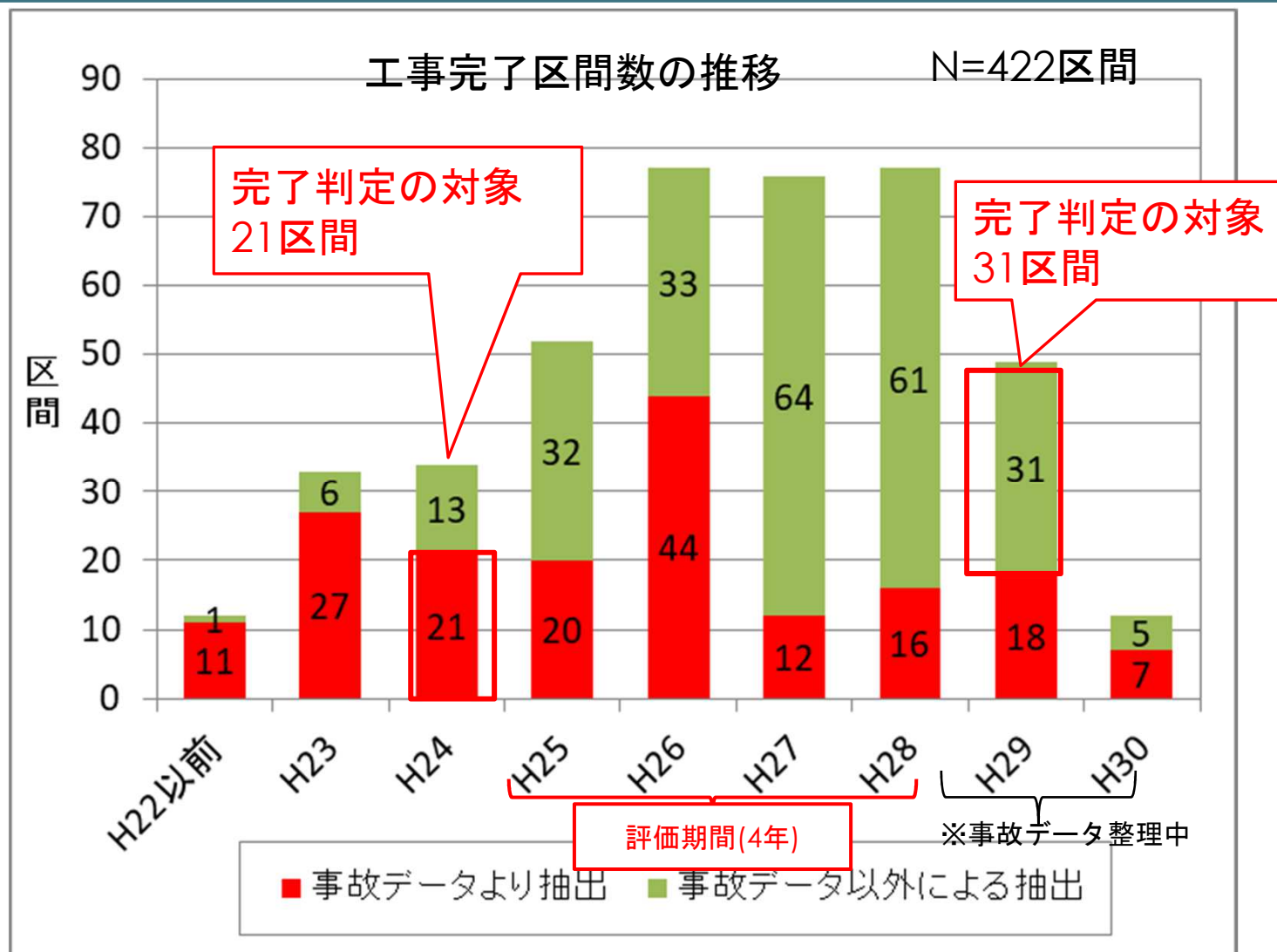
第16回 委員会（平成30年1月）



2. 事故ゼロプラン

対策完了判定の対象区間

- 事故データで抽出した工事完了後4年経過(4年分事故データが蓄積)した21区間と、昨年度工事が完了した31区間を対象とし、対策の完了判定を行った。



2. 事故ゼロプラン

対策完了判定の結果

【審議事項】：対策完了

- 事故データより抽出した21区間について、18区間が事故件数2割以上削減(CHECK-1)となり、各管理者の確認(CHECK-2)を行い、当委員会で承認をいただければ対策完了となる。
- また、3区間については、事故件数2割以上(CHECK-1)が削減されていない事から、追加対策検討とする。

No	道路 管理者	路線 番号	区間名 (交差点名)	事業 年度	選定指標※			CHECK-1				CHECK-2
								死傷事故件数		増減率		
					死傷事故件数	死亡事故件数	死傷事故率	H20-23 対策前	H25-28 対策後	増減率	2割以上削減	
1	横浜国道	1	荒立交差点	H24	17	0	229.8	17	14	-18%	×	
2	横浜国道	1	入江町交差点	H24	35	0	1011.2	35	22	-37%	●	●
3	横浜国道	1	茅ヶ崎警察署前交差点～新栄町交差点	H24	26	0	776.0	26	11	-58%	●	●
4	横浜国道	1	青木橋交差点	H24	16	0	365.5	16	16	0%	×	
5	横浜国道	15	鶴見会館前交差点	H24	16	0	385.4	16	5	-69%	●	●
6	横浜国道	16	下白根西側隣接交差点	H24	20	0	456.9	20	8	-60%	●	●
7	横浜国道	16	旭区白根 白根不動交差点～タイヤガーデン前付近	H24	21	0	213.6	21	18	-14%	×	
8	横浜国道	16	姫ノ島公園前交差点	H24	25	0	768.5	25	13	-48%	●	●
9	横浜国道	16	泥亀2丁目交差点	H24	18	0	315.4	18	10	-44%	●	●
10	横浜国道	16	東富岡交差点	H24	18	0	640.5	18	9	-50%	●	●
11	横浜国道	16	吉田中学校前交差点	H24	21	1	1314.4	21	13	-38%	●	●
12	横浜国道	246	水引交差点	H24	21	0	493.9	21	8	-62%	●	●
13	横浜国道	246	秦野市若松町3-3～若松町交差点	H24	24	0	603.7	24	12	-50%	●	●
14	横浜国道	246	伊勢原市大住台 谷戸岡公園前～トステムショールーム前付近	H24	17	0	740.6	17	13	-24%	●	●
15	神奈川県	134	鎌倉市七里が浜1丁目	H24	46	0	1310.4	46	24	-48%	●	●
16	神奈川県	50	大和市下鶴間	H24	26	0	863.6	26	14	-46%	●	●
17	神奈川県	30	東町交差点	H24	20	0	769.6	20	9	-55%	●	●
18	神奈川県	27	三浦高校前交差点	H24	19	0	737.4	19	15	-21%	●	●
19	神奈川県	50	相武台団地入口	H24	20	0	664.3	20	14	-30%	●	●
20	川崎市	409	幸町交番前～幸町3-547	H24	21	0	459.4	21	4	-81%	●	●
21	川崎市	9	梅林交差点	H24	19	0	564.6	19	11	-42%	●	●

※ 事故データによる抽出基準は、16件／4年以上で、死亡事故件数1件以上もしくは死傷事故率100以上（第7回委員会）

2. 事故ゼロプラン

完了判定の結果

【審議事項】：対策完了

- 事故データ以外により抽出した31区間については、工事完了をもって対策完了となる。

No	道路 管理者	路線 番号	区間名 (交差点名)	事業年度
1	横浜国道	15	宮本町交差点	H29
2	横浜国道	16	峯小学校入口交差点	H29
3	横浜国道	16	保土ヶ谷警察署前交差点:横浜市保土ヶ谷区川辺町2-16	H29
4	横浜国道	16	横浜市保土ヶ谷区川辺町8~横浜市保土ヶ谷区川辺町34-12	H29
5	横浜国道	16	和田町2丁目交差点:横浜市保土ヶ谷区和田2丁目2	H29
6	横浜国道	16	今宿西町交差点:横浜市旭区今宿西町1933	H29
7	横浜国道	246	大和橋交差点:大和市下鶴間2591	H29
8	横浜国道	1	横浜市神奈川区広台太田町4-25(広太田交差点)	H29
9	横浜国道	16	横浜市旭区上川井町884~横浜市旭区上川井町1964(上川井IC下り入口)	H29
10	横浜国道	246	伊勢原市坪ノ内832~伊勢原市善波481	H29
11	横浜国道	246	秦野市平沢522-13 ~ 秦野市平沢250-1(堀川入口交差点隣接单路)	H29
12	相武国道	16	相模原警察署前交差点	H29
13	相武国道	16	鹿沼台(交)	H29
14	相武国道	16	矢部駅入口交差点	H29
15	相武国道	16	(仮)相模原市富士見ブックオフ前(単)	H29
16	相武国道	20	相模原市緑区小淵(単)(藤野中入口)	H29
17	相武国道	16	(仮)鹿沼台北交差点	H29
18	相武国道	16	(仮)相模原市富士見ブックオフ西側交差点	H29
19	相武国道	16	(仮)相模原市矢部駅入口(交)東側(単)	H29
20	相武国道	16	(仮)相模原市富士見三丁目歩道橋(単)	H29
21	相武国道	20	相模原市緑区小淵(単)(吉野棧道橋)	H29
22	相武国道	16	大野交番前交差点	H29
23	神奈川県	207	三浦郡葉山町堀内892番地~284番地(郵便局前交差点~清浄寺付近)	H29
24	神奈川県	129	厚木市関口240-1 関口中央交差点	H29
25	神奈川県	138	足柄下郡箱根町仙石原1285 箱根登山バス小塚入口バス停付近	H29
26	神奈川県	711	足柄上郡松田町松田惣領1196から1213まで(新松田駅入口交差点付近)	H29
27	神奈川県	134	茅ヶ崎市柳島1588(柳島海岸交差点)	H29
28	川崎市	124	川崎市麻生区細山1丁目1番地先(西生田小学校前交差点)	H29
29	相模原市	57	相模原市中央区横山五丁目47番地(上溝中坂下交差点)	H29
30	相模原市	507	中央区緑が丘1丁目11-24~25-21付近	H29
31	相模原市	46	中央区上溝373-11~411-1付近	H29

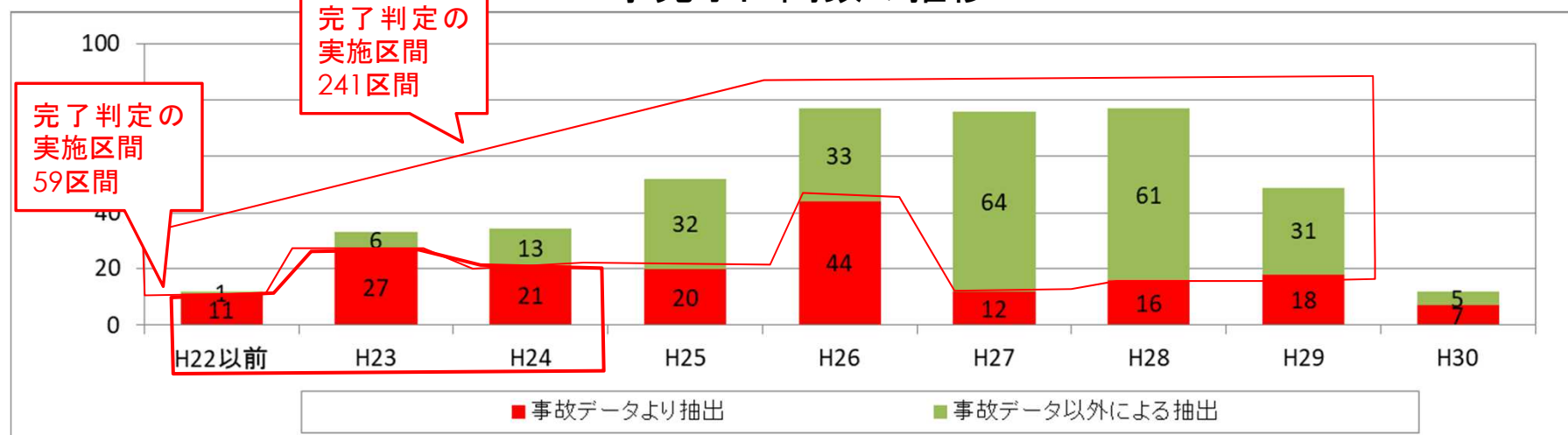
2. 事故ゼロプラン

これまでの対策完了区間

- これまで工事が完了した422区間のうち、300区間について対策完了判定を行い、完了となった288区間を参考に次頁以降に示す。

	工事完了 (対策完了判定)	対策完了	未完了
事故データによる抽出 (平成24年までの対策実施区間)	59区間	47区間	12区間
事故データ以外による抽出 (平成29年までの対策実施区間)	241区間	241区間	
	300区間	288区間	12区間

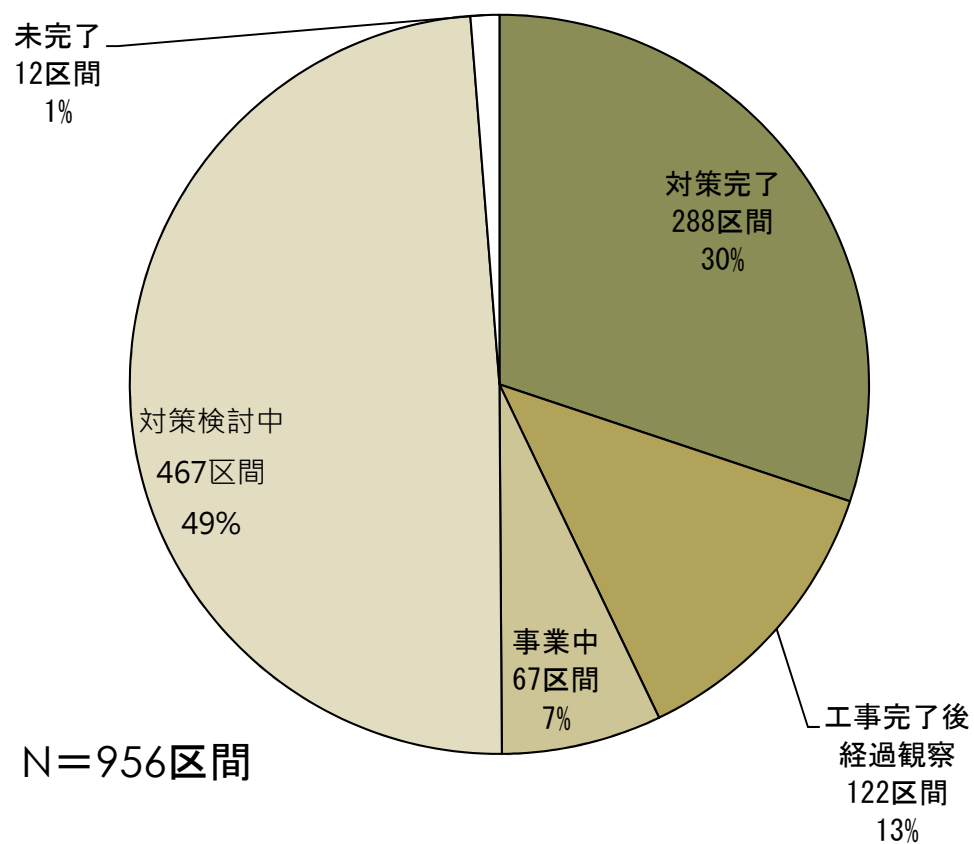
工事完了区間数の推移



2. 事故ゼロプラン

これまでの対策完了区間

- 事故ゼロプラン2期956区間のうち、30%の288区間を対策完了とする。



2. 事故ゼロプラン

参考

これまでの対策完了区間＜事故データで抽出された区間＞

- 事故データで評価した59区間中、47区間は対策完了となっている。

■ 事故データで抽出した対策完了区間（47区間） 1/2

No	道路 管理者	路線 番号	区間名 (交差点名)	事業 年度	対策前 死傷事故件数	対策前 死亡事故件数	対策前 死傷事故率	CHECK-1				CHECK-2
								死傷事故件数 対策前	死傷事故件数 対策後	削減率	2割以上削減	
1	横浜国道	1	尻手2丁目交差点	H23	17	0	590.2	17	12	-29%	●	●
2	横浜国道	1	入江町交差点	H24	35	0	1011.2	35	22	-37%	●	●
3	横浜国道	1	泉町西側隣接交差点(松本町2丁目交差点)	H23	18	0	411.2	18	13	-28%	●	●
4	横浜国道	1	茅ヶ崎市小和田2丁目11-48～小和田2丁目1-55	H23	25	0	746.1	25	18	-28%	●	●
5	横浜国道	1	茅ヶ崎市茅ヶ崎新栄町交差点～茅ヶ崎警察署前交差点	H24	26	0	776.0	26	11	-58%	●	●
6	横浜国道	1	二ツ谷交差点	H23	22	0	958.4	22	13	-41%	●	●
7	横浜国道	15	鶴見会館前交差点	H24	16	0	385.4	16	5	-69%	●	●
8	横浜国道	16	下白根西側隣接交差点	H24	20	0	456.9	20	8	-60%	●	●
9	横浜国道	16	姫ノ島公園前交差点	H24	25	0	768.5	25	13	-48%	●	●
10	横浜国道	16	泥亀2丁目交差点	H24	18	0	315.4	18	10	-44%	●	●
11	横浜国道	16	東富岡交差点	H24	18	0	640.5	18	9	-50%	●	●
12	横浜国道	16	吉田中学校前交差点	H24	21	1	1314.4	21	13	-38%	●	●
13	横浜国道	246	新石川交差点	H22以前	35	0	571.0	35	3	-91%	●	●
14	横浜国道	246	江田駅東交差点～江田駅前交差点	H22以前	45	0	785.1	45	12	-73%	●	●
15	横浜国道	246	江田駅前交差点～青葉区荏田西1丁目	H22以前	50	0	836.5	50	14	-72%	●	●
16	横浜国道	246	水引交差点	H24	21	0	493.9	21	8	-62%	●	●
17	横浜国道	246	若松町交差点～堀西入口交差点	H24	24	0	603.7	24	12	-50%	●	●
18	横浜国道	246	伊勢原市大住台 谷戸岡公園前～トステムショールーム前付近	H24	17	0	740.6	17	13	-24%	●	●
19	相武国道	16	中和田交差点	H23	33	0	340.6	33	23	-30%	●	●
20	相武国道	16	相模大野駅南口入口(交)	H23	29	0	299.3	29	17	-41%	●	●

2. 事故ゼロプラン

参考

■事故データで抽出した対策完了区間（47区間） 2/2

No	道路 管理者	路線 番号	区間名 (交差点名)	事業 年度	対策前 死傷事故件数	対策前 死亡事故件数	対策前 死傷事故率	CHECK-1				CHECK-2
								死傷事故件数		削減率		
								対策前	対策後	削減率	2割以上削減	
21	神奈川県	134	鎌倉市七里が浜1丁目	H24	46	0	1310.4	46	24	-48%	●	●
22	神奈川県	50	大和市下鶴間	H24	26	0	863.6	26	14	-46%	●	●
23	神奈川県	134	久里浜交差点	H22以前	31	0	1679.7	31	5	-84%	●	●
24	神奈川県	720	飯田岡入口交差点	H23	16	0	627.7	16	8	-50%	●	●
25	神奈川県	30	東町交差点	H24	20	0	769.6	20	9	-55%	●	●
26	神奈川県	32	手広交差点	H23	23	0	759.3	23	14	-39%	●	●
27	神奈川県	304	古館橋交差点	H22以前	20	0	1311.8	20	8	-60%	●	●
28	神奈川県	27	三浦高校前交差点	H24	19	0	737.4	19	15	-21%	●	●
29	神奈川県	134	大津グランド前交差点	H22以前	20	0	399.8	20	6	-70%	●	●
30	神奈川県	467	藤沢橋交差点	H23	25	0	1017.6	25	13	-48%	●	●
31	神奈川県	44	変電所前交差点	H22以前	20	0	5043.7	20	4	-80%	●	●
32	神奈川県	467	郵便局前交差点	H23	30	0	1221.1	30	7	-77%	●	●
33	神奈川県	301	大船駅東口交通広場前交差点	H23	23	0	2448.5	23	3	-87%	●	●
34	神奈川県	43	東町郵便局前交差点	H23	21	0	624.6	21	5	-76%	●	●
35	神奈川県	50	相武台団地入口	H24	20	0	664.3	20	14	-30%	●	●
36	神奈川県	134	唐ヶ原交差点	H23	25	0	690.1	25	7	-72%	●	●
37	横浜市	12	西岸根	H22以前	31	0	1059.5	31	13	-58%	●	●
38	横浜市	2	港北区綱島東2丁目交差点	H23	17	0	625.4	17	6	-65%	●	●
39	横浜市	2	北綱島	H23	24	0	882.9	24	11	-54%	●	●
40	横浜市	83	楠橋入口	H23	21	0	580.7	21	16	-24%	●	●
41	横浜市	21	公田	H23	24	0	620.3	24	15	-38%	●	●
42	横浜市	83	霜下橋入口	H23	19	0	490.1	19	9	-53%	●	●
43	横浜市	1	戸塚郵便局前	H23	23	0	1152.2	23	2	-91%	●	●
44	横浜市	2	樽町	H23	23	0	846.1	23	5	-78%	●	●
45	川崎市	409	幸町交番前～幸町3-547	H24	21	0	459.4	21	4	-81%	●	●
46	川崎市	9	梅林交差点	H24	19	0	564.6	19	11	-42%	●	●
47	川崎市	101	川崎病院入口交差点	H23	20	0	953.2	20	5	-75%	●	●

2. 事故ゼロプラン

参考

これまでの対策完了区間＜事故データ以外による抽出＞

●これまでに対策完了した241区間を以下に示す。

No	道路 管理者	路線 番号	区間名 (交差点名)	事業年度
1	横浜国道	1	(仮)遠藤町隣接交差点:川崎市幸区遠藤町2	H24
2	横浜国道	1	川崎市幸区神明町1丁目:パウかわさき~さいわい緑道付近(単路)	H28
3	横浜国道	1	下末吉交差点	H24
4	横浜国道	1	岸谷交差点	H27
5	横浜国道	1	三ツ沢中町交差点	H24
6	横浜国道	1	城南交差点	H26
7	横浜国道	1	新栄町交差点	H26
8	横浜国道	1	茅ヶ崎市十間坂 西野酒店前~セブンイレブン茅ヶ崎十間坂前付近	H25
9	横浜国道	1	茅ヶ崎市下町屋・鳥井戸橋交差点~横浜トヨペット付近	H27
10	横浜国道	1	産業道路入口交差点	H26
11	横浜国道	1	検察庁前交差点	H27
12	横浜国道	1	中郡大磯町西小磯425(城山公園前交差点)	H27
13	横浜国道	1	大磯町国府本郷	H26
14	横浜国道	1	大磯町国府新宿(変電所入口交差点付近)	H27
15	横浜国道	1	中郡二宮町山西451(押切橋交差点)	H27
16	横浜国道	1	小田原市風祭 小田箱分岐~中華料理屋前付近	H26
17	横浜国道	1	小田原市入生田 井島商店横市道取付部~地球博物館前交差点	H27
18	横浜国道	1	桐畑交差点	H24
19	横浜国道	1	戸部警察署前交差点	H26
20	横浜国道	15	宮本町交差点	H29
21	横浜国道	15	宮前町南側隣接交差点	H25
22	横浜国道	15	鶴見中央3交差点:横浜市鶴見区鶴見中央3丁目13	H27
23	横浜国道	15	子安ランプ入口交差点:横浜市神奈川区子安通3丁目343	H27
24	横浜国道	15	出田町入口交差点	H28
25	横浜国道	16	峯小学校入口交差点	H29
26	横浜国道	16	保土ヶ谷警察署前交差点:横浜市保土ヶ谷区川辺町2-16	H29
27	横浜国道	16	横浜市保土ヶ谷区川辺町8~横浜市保土ヶ谷区川辺町34-12	H29
28	横浜国道	16	和田町2丁目交差点:横浜市保土ヶ谷区和田2丁目2	H29
29	横浜国道	16	上星川2交差点:横浜市保土ヶ谷区上星川2丁目8	H26
30	横浜国道	16	東川島町交差点	H26
31	横浜国道	16	保土ヶ谷区西谷町 新幹線高架下付近~セブンイレブン付近T字交差点	H23
32	横浜国道	16	旭区今宿東町 今宿交番前交差点付近~今宿西町交差点	H27
33	横浜国道	16	今宿西町交差点:横浜市旭区今宿西町1933	H29
34	横浜国道	16	旭区今宿西町 デニーズ今宿西店前~ジョーバスタ今宿店前付近	H24
35	横浜国道	16	築池交差点	H27
36	横浜国道	16	川井本町交差点	H27
37	横浜国道	16	横須賀市長浦町2丁目79(安針塚駅入口交差点)	H28
38	横浜国道	16	田浦駅入口交差点:横須賀市田浦町1丁目7	H28
39	横浜国道	16	田浦郵便局付近	H28
40	横浜国道	16	横須賀市追浜町2丁目 良心寺入口交差点~若葉花園前交差点 交差点1箇所含む	H25
41	横浜国道	16	金沢警察署前交差点	H24
42	横浜国道	16	片吹交差点	H26
43	横浜国道	16	富岡駅入口交差点	H25
44	横浜国道	16	金沢区富岡東5丁目 サザンハイツ前付近~ペンコパレス富岡前付近 宮の前交差点含む	H27
45	横浜国道	16	富岡町交差点	H25
46	横浜国道	16	青砥坂交差点	H26
47	横浜国道	16	杉田交差点	H26
48	横浜国道	16	聖天橋交差点	H25
49	横浜国道	16	磯子区磯子3丁目 磯子駅入口交差点	H27
50	横浜国道	16	根岸橋交差点	H24

No	道路 管理者	路線 番号	区間名 (交差点名)	事業年度
51	横浜国道	16	駿河橋東側隣接交差点	H26
52	横浜国道	16	中郵便局北交差点	H27
53	横浜国道	16	羽衣町3丁目交差点	H24
54	横浜国道	16	羽衣町1丁目交差点	H24
55	横浜国道	16	桜木町2丁目交差点	H25
56	横浜国道	16	紅葉坂交差点:横浜市中区桜木町3丁目13	H28
57	横浜国道	246	片町交差点	H27
58	横浜国道	246	大和橋交差点:大和市中鶴間2591	H29
59	横浜国道	246	西原交差点	H28
60	横浜国道	246	中津川橋付近	H28
61	横浜国道	246	妻田向市場交差点	H25
62	横浜国道	246	森の里入口交差点	H27
63	横浜国道	246	愛甲宮前交差点	H27
64	横浜国道	246	沖田交差点	H26
65	横浜国道	246	伊勢原市坪ノ内 串橋交差点~桜坂交差点	H25
66	横浜国道	246	桜坂交差点	H24
67	横浜国道	246	新町交差点	H26
68	横浜国道	246	秦野市平沢 共石オートガス前付近~ゼネラル石油前付近	H24
69	横浜国道	246	清水橋交差点	H27
70	横浜国道	1	横浜市神奈川区広台太田町4-25(広太田交差点)	H29
71	横浜国道	1	中郡大磯町国府本郷546(下り線大磯西インターチェンジ)	H28
72	横浜国道	16	上川井IC	H26
73	横浜国道	16	横浜市金沢区富岡東6丁目31-18(金沢総合高校入口交差点)	H28
74	横浜国道	16	横浜市旭区上川井町884~横浜市旭区上川井町1964(上川井IC下り入口)	H29
75	横浜国道	246	厚木市金田1266~厚木市金田1435-1(新相模大橋手前単路部)	H28
76	横浜国道	246	伊勢原市坪ノ内832~伊勢原市善波481	H29
77	横浜国道	246	秦野市平沢522-13 ~秦野市平沢250-1(堀川入口交差点隣接単路)	H29
78	横浜国道	1	川崎市幸区都町79-1(都町交差点)	H28
79	相武国道	16	元橋本町(単)	H28
80	相武国道	16	淵野辺交差点	H28
81	相武国道	16	相模原警察署前交差点	H29
82	相武国道	16	清新交差点	H27
83	相武国道	16	鹿沼台(交)	H29
84	相武国道	16	橋本駅南入口交差点	H28
85	相武国道	16	中央中学校入口交差点	H28
86	相武国道	16	相模原市中央2(単)	H28
87	相武国道	16	(仮)矢部駅入口交差点南	H28
88	相武国道	16	大野台郵便局前(交)	H23
89	相武国道	16	(仮)相模原署東交差点	H27
90	相武国道	16	相模原市清新3(単)	H27
91	相武国道	16	矢部駅入口交差点	H29
92	相武国道	16	(仮)相模原署西交差点	H27
93	相武国道	16	(仮)相模原市清新小学校前(単)	H28
94	相武国道	16	(仮)相模原市富士見ブックオフ前(単)	H29
95	相武国道	16	(仮)相模原市富士見ボルボ西側交差点	H28
96	相武国道	16	(仮)中央中学校入口交差点	H28
97	相武国道	16	(仮)相模原市富士見交安協会東側交差点	H27
98	相武国道	20	相模原市緑区小淵(単)(藤野中入口)	H29
99	相武国道	16	(仮)中央中学校入口(交)西側(単)	H27
100	相武国道	16	(仮)鹿沼台北交差点	H29

2. 事故ゼロプラン

参考

No	道路 管理者	路線 番号	区間名 (交差点名)	事業年度
101	相武国道	16	(仮)相模原市富士見ブックオフ西側交差点	H29
102	相武国道	16	(仮)相模原市富士見小学校北側交差点	H28
103	相武国道	16	(仮)相模原市パークハイツ(単)	H28
104	相武国道	16	(仮)相模原市矢部共同墓地前(単)	H28
105	相武国道	16	(仮)相模原市矢部駅入口(交)東側(単)	H29
106	相武国道	16	(仮)相模原市相模原警察前バス停(単)	H27
107	相武国道	16	(仮)相模原市富士見三丁目歩道橋(単)	H29
108	相武国道	16	(仮)相模原市富士見ボルボ前(単)	H28
109	相武国道	16	(仮)相模原市中央小入口(交)東側(単)	H28
110	相武国道	16	(仮)相模原市交通安全協会前(単)	H27
111	相武国道	16	(仮)相模原署前(交)東側(単)	H27
112	相武国道	20	相模原市緑区小淵(吉野棧道橋)	H29
113	相武国道	20	(仮)大野台2北交差点	H28
114	相武国道	16	共和四丁目交差点	H26
115	相武国道	16	高根一丁目交差点	H26
116	相武国道	16	相模原市大野台1(単)	H28
117	相武国道	16	つきみ野入口交差点	H25
118	相武国道	16	相模原市高根1(単)	H25
119	相武国道	16	(仮)淵野辺(交)北	H28
120	相武国道	16	相模原市大野台2(単)	H28
121	相武国道	16	相模原市由野台2(単)	H28
122	相武国道	16	高根一丁目(交)南側(単)	H25
123	相武国道	16	(仮)橋本陸橋下踏切	H26
124	相武国道	16	(仮)コジマNEW橋本前	H26
125	相武国道	16	(仮)橋本東急ストア前	H26
126	相武国道	16	相模原市清新4(単)	H28
127	相武国道	20	守屋自動車	H28
128	相武国道	16	高根一丁目(交)北側(単)	H25
129	相武国道	20	住宅前バス停から奥の沢橋まで	H25
130	相武国道	16	(仮)橋本陸橋南側道分岐交差点	H27
131	相武国道	16	(仮)相模原市由野台一丁目(交)西側(単)	H28
132	相武国道	16	(仮)淵野辺キャン入口(交)西側(単)	H25
133	相武国道	16	(仮)橋本陸橋下踏切	H26
134	相武国道	16	(仮)相模原市共和三丁目(交)東側(単)	H28
135	相武国道	16	(仮)橋本駅南入口(交)北側	H27
136	相武国道	20	相模原市緑区小原(単)	H27
137	相武国道	20	相模原市緑区小原(単)	H27
138	相武国道	20	相模原市緑区与瀬本町47番地～緑区与瀬836番地	H28
139	相武国道	16	南橋本一丁目交差点	H28
140	相武国道	16	元橋本交差点	H28
141	相武国道	16	大野交番前交差点	H29
142	神奈川県	603	厚木市船子1169～1077番地	H27
143	神奈川県	207	三浦郡葉山町堀内892番地～284番地(郵便局前交差点～清浄寺付近)	H29
144	神奈川県	61	平塚市豊原町3～19～平塚市豊原町5～21	H28
145	神奈川県	134	花水川橋	H26
146	神奈川県	134	道祖神社入口交差点	H25
147	神奈川県	51	座間市座間4906	H27
148	神奈川県	404	茅ヶ崎市堤2987～茅ヶ崎市堤2616	H25
149	神奈川県	601	厚木市金田926先(第一站津橋)～厚木市金田896番2	H25
150	神奈川県	134	逗子市新宿二丁目13～6～逗子市新宿二丁目4～4	H27

No	道路 管理者	路線 番号	区間名 (交差点名)	事業年度
151	神奈川県	467	藤沢市片瀬三丁目17～28～藤沢市片瀬三丁目1～43	H25
152	神奈川県	21	鎌倉市御成町4～13～鎌倉市御成町3～8	H25
153	神奈川県	62	平塚市長持413～平塚市入野462	H27
154	神奈川県	26	横須賀市佐野町四丁目52～横須賀市佐野町六丁目1	H25
155	神奈川県	40	大和市桜森2～6～16～大和市桜森1～3～10	H27
156	神奈川県	26	上町1丁目交番前～市立児童図書館前まで	H27
157	神奈川県	134	横須賀市長坂1～3～2(市民病院前交差点付近)	H27
158	神奈川県	42	座間市座間1～328～1～座間市座間1～339(座間下宿交差点)	H27
159	神奈川県	612	秦野市鶴巻北一丁目24～7～秦野市鶴巻北一丁目1～5	H28
160	神奈川県	205	逗子市池子二丁目5～1～逗子市池子二丁目9～2	H27
161	神奈川県	134	マホロバマインズ前	H26
162	神奈川県	606	平塚市大原1	H28
163	神奈川県	45	円蔵交差点付近	H26
164	神奈川県	24	横須賀市船越三丁目34～横須賀市船越三丁目24～1	H26
165	神奈川県	26	三浦市天神町5～20	H26
166	神奈川県	134	大作交差点	H26
167	神奈川県	715	小田原市曾比	H25
168	神奈川県	255	大井町上大井257(栢山入口交差点)	H27
169	神奈川県	129	平塚市幸町28～12	H28
170	神奈川県	609	平塚市山下389(高根交差点)	H27
171	神奈川県	129	平塚市馬入本町	H23
172	神奈川県	311	小坪入口交差点	H25
173	神奈川県	21	鎌倉市小町	H23
174	神奈川県	27	横須賀市公郷町2丁目	H25
175	神奈川県	44	平塚市横内194(横内交差点)	H28
176	神奈川県	44	伊勢原市下谷1217(下谷交差点)	H28
177	神奈川県	22	用田交差点	H28
178	神奈川県	47	高座郡寒川町一ノ宮五丁目1～8	H27
179	神奈川県	47	寒川町一之宮5～4～8(寒川浄水場前交差点)	H27
180	神奈川県	43	保険医療センター入口交差点	H26
181	神奈川県	304	鎌倉市山崎33(三菱電機北口交差点)	H27
182	神奈川県	412	荻野新宿交差点	H21
183	神奈川県	40	綾瀬市大上4～3～18	H27
184	神奈川県	42	海老名市東柏ヶ谷1～1～151～3	H27
185	神奈川県	51	座間市相武台1～459(相武台前駅交差点)	H27
186	神奈川県	56	大和市下鶴間	H23
187	神奈川県	134	花水川橋交差点	H26
188	神奈川県	134	八間通り入口交差点	H25
189	神奈川県	63	田谷交差点	H24
190	神奈川県	129	戸田交差点	H28
191	神奈川県	129	厚木市山際634番地(山際バス停交差点)	H25
192	神奈川県	129	大野交差点	H24
193	神奈川県	22	海老名市門沢橋1～5～14(東河内交差点)	H27
194	神奈川県	56	大和市下鶴間503～4(つきみ野交差点)	H27
195	神奈川県	27	三浦郡葉山町一色626 葉山郵便局前	H27
196	神奈川県	134	平塚市袖が浜7 湘南海岸公園入口交差点	H27
197	神奈川県	402	鎌倉市関谷1156番地～1127番地(東正院交差点付近)	H28
198	神奈川県	129	厚木市関口240～1 関口中央交差点	H29
199	神奈川県	138	足柄下郡箱根町仙石原1285 箱根登山バス小塚入口バス停付近	H29
200	神奈川県	711	足柄上郡松田町松田惣領1196から1213まで(新松田駅入口交差点付近)	H29

2. 事故ゼロプラン

参考

No	道路 管理者	路線 番号	区間名 (交差点名)	事業年度
201	神奈川県	134	茅ヶ崎市柳島1588(柳島海岸交差点)	H29
202	横浜市	203	笠間交差点	H27
203	横浜市	13	新橋交差点	H28
204	横浜市	22	泉区総合庁舎前交差点	H25
205	横浜市	40	横浜市瀬谷区瀬谷6丁目21-1	H28
206	横浜市	18	横浜市瀬谷区瀬谷5丁目16-33～横浜市瀬谷区瀬谷5丁目32-8	H28
207	横浜市	21	新吉原橋交差点	H27
208	横浜市	40	横浜市瀬谷区瀬谷4丁目44-12～横浜市瀬谷区瀬谷4丁目37-8	H26
209	横浜市	21	横浜市栄区鍛冶ヶ谷2丁目51～横浜市栄区鍛冶ヶ谷2丁目42-16	H27
210	横浜市	82	横浜市中区本牧和田33-8(本牧中学校入口交差点)	H27
211	横浜市	133	本町4丁目交差点本町5丁目交差点	H27
212	横浜市	45	東方原交差点	H28
213	横浜市	80	横浜市西区中央1丁目35番地23号(西平沼交差点)	H27
214	川崎市	132	川崎市川崎区中島2丁目17番1(中島2交差点)	H27
215	川崎市	409	川崎市川崎区本町2丁目2番4	H27
216	川崎市	2	労災病院前付近	H28
217	川崎市	2	労災病院前交差点	H28
218	川崎市	3	片平交差点	H25
219	川崎市	6	川崎市川崎区昭和2-18-12(日ノ出バス停前交差点)	H28
220	川崎市	6	川崎市川崎区池上新町2丁目17番2(川崎臨港警察署前交差点)	H27
221	川崎市	14	矢上16～矢上4	H25
222	川崎市	14	北加瀬3丁目交差点	H25
223	川崎市	14	北加瀬3-14～矢上3	H25
224	川崎市	45	上小田中6丁目交差点	H23
225	川崎市	140	川崎市川崎区日進町15番1(日進町交差点)	H26
226	川崎市	45	川崎市宮前区野川753番地(野川交差点)	H26
227	川崎市	124	川崎市麻生区細山1丁目1番地先(西生田小学校前交差点)	H29
228	相模原市	46	上溝本町交差点	H28
229	相模原市	48	上田名交差点	H26
230	相模原市	507	光が丘小学校前交差点	H28
231	相模原市	48	新小倉橋東側交差点	H27
232	相模原市	46	相模原市中央区上溝6丁目21-6～3-3付近	H28
233	相模原市	129	田名赤坂交差点	H28
234	相模原市	129	下の原交差点	H25
235	相模原市	57	相模原市中央区横山五丁目47番地(上溝中坂下交差点)	H29
236	相模原市	46	南区磯部181～1390付近	H28
237	相模原市	507	中央区緑が丘1丁目11-24～25-21付近	H29
238	相模原市	46	中央区上溝373-11～411-1付近	H29
239	相模原市	51	南区相模大野5丁目27-15～29-9付近	H28
240	相模原市	412	相模湖公園交差点	H27
241	相模原市	48	向原交差点	H28

2. 事故ゼロプラン

＜事故ゼロプラン2期の対策事例＞

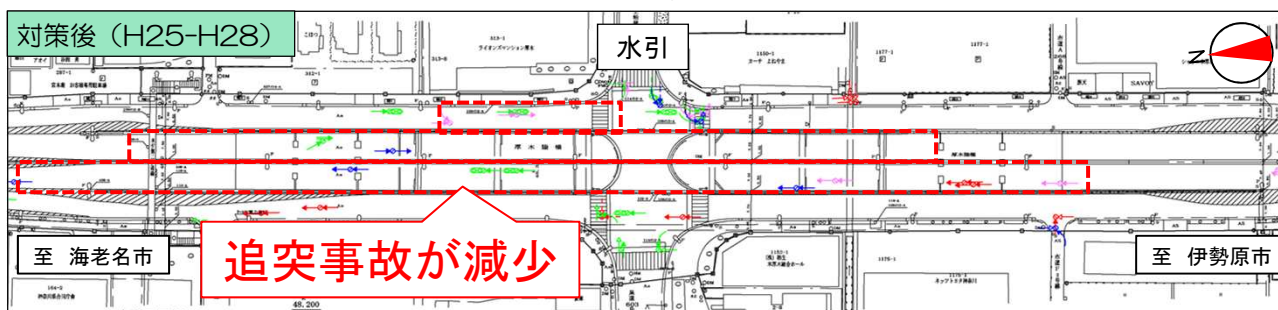
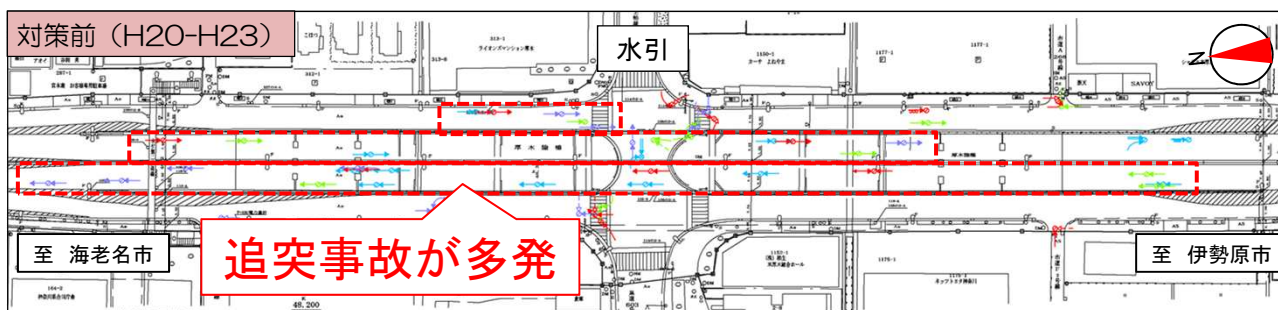
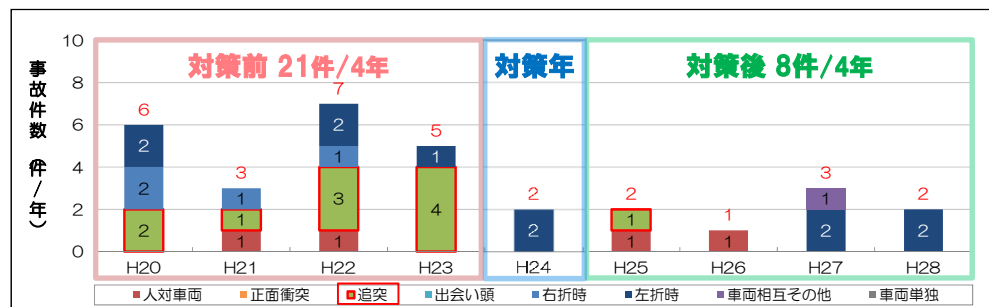
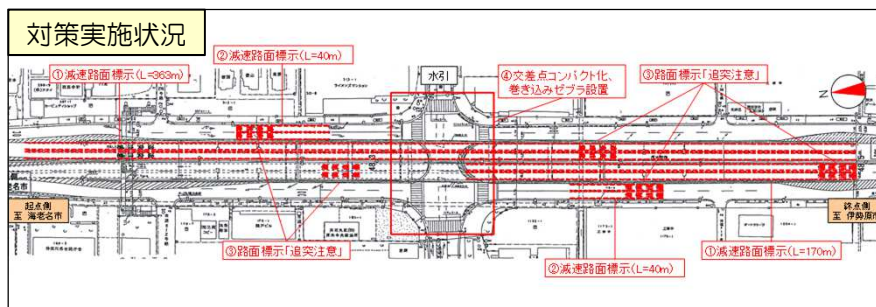
2. 事故ゼロプラン

・対策事例～追突事故対策～「国道246号 水引交差点」

H24工事完了

横浜国道

- 追突事故が多発しており、H24に減速路面標示・「追突注意」路面標示の対策を実施。
- 対策実施後、追突事故が10件/4年から1件/4年に減少。
- 減速路面標示・「追突注意」路面標示の対策により、ドライバーへの注意喚起を促すことで事故が減少。



使用データ：ITARDA事故別データ (H20～H28)

記号	意味
←	自動車 (前進)
→	自動車 (後退)
←→	二輪
←→	原付
←→	自転車
←→	歩行者
←→	駐停車車両

事故記号年次 凡例

→ H20	→ H21	→ H22	→ H23
-------	-------	-------	-------

【総事故】
 対策前：21件/4年 ⇒ 対策後：8件/4年
 【追突事故】
 対策前：10件/4年 ⇒ 対策後：1件/4年

事故記号年次 凡例

→ H25	→ H26	→ H27	→ H28
-------	-------	-------	-------

2. 事故ゼロプラン

・対策事例～二輪車事故対策～

横浜国道

対策の内容および目的

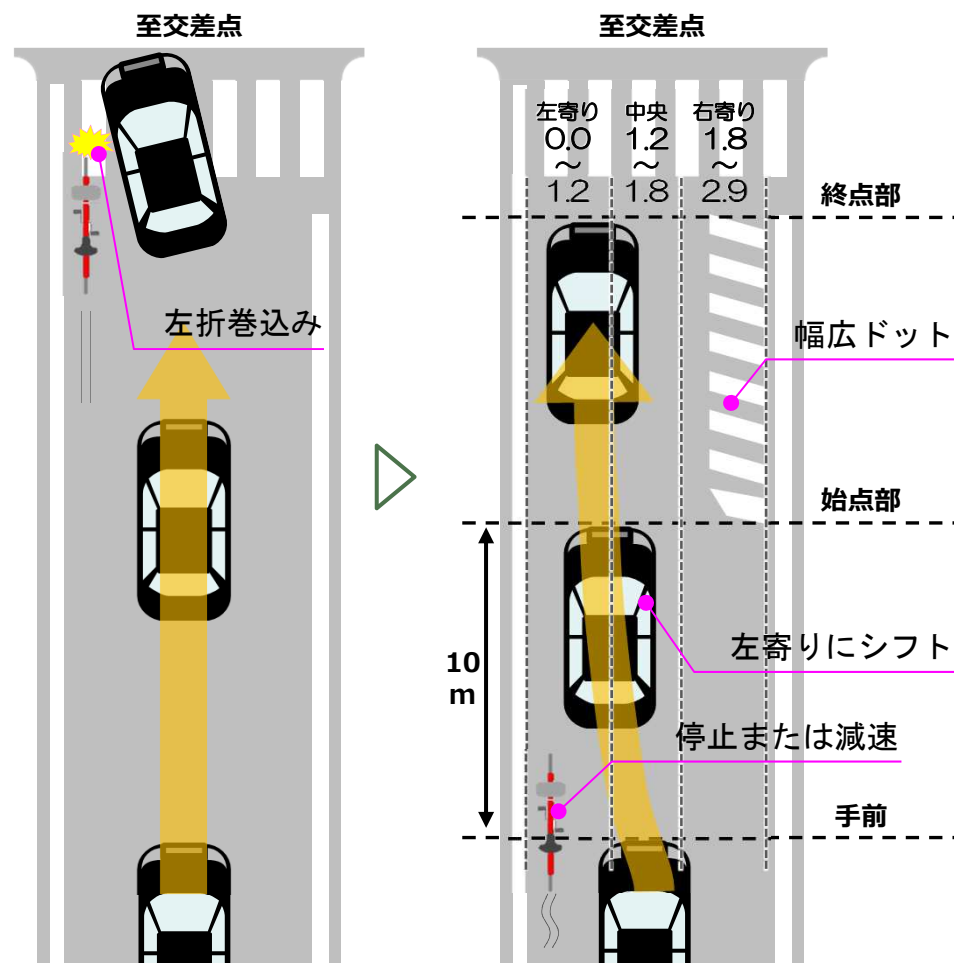
対策内容：幅広ドット

目的：交差点直近での滞留車両の走行位置を路肩側に寄せることにより、二輪車のすり抜け防止およびすり抜け時の速度抑制。

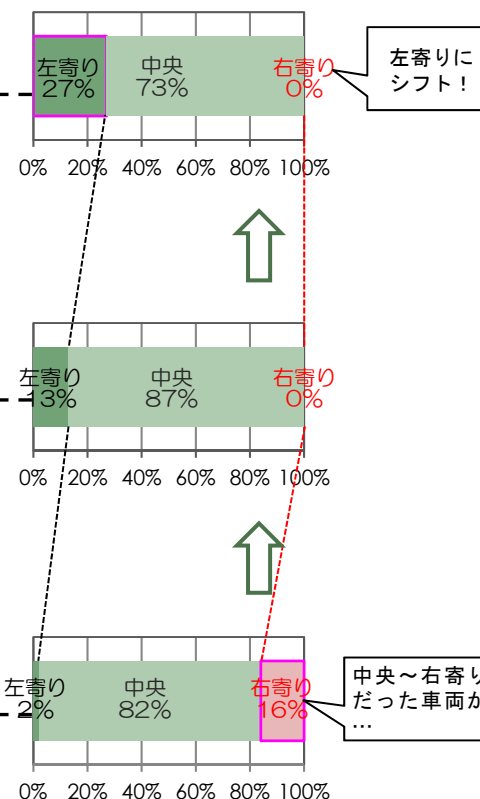
対策の効果

調査方法：3断面で車両の走行位置を計測し、「左寄り」「中央」「右寄り」に分類。

効果：幅広ドットの区間手前から終点部にかけて、車両が左寄りにシフトする傾向が確認された。



福泉寺前交差点における調査結果



施工された幅広ドット



左寄りを走行する車両



すり抜けを断念した二輪車 44

2. 事故ゼロプラン

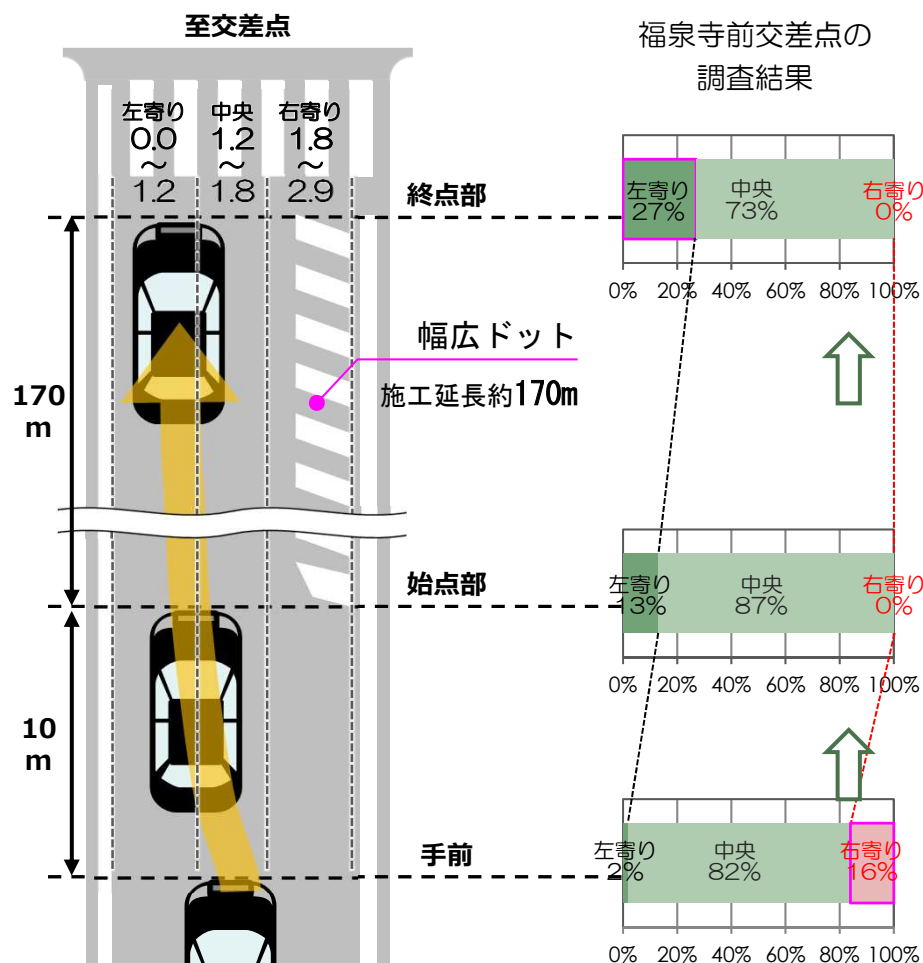
・対策事例～二輪車事故対策～(2)

横浜国道

条件の違いにより、シフト開始の位置やシフトの幅に違いがみられ、施工延長が長いほうが左寄りの傾向が顕著であった。

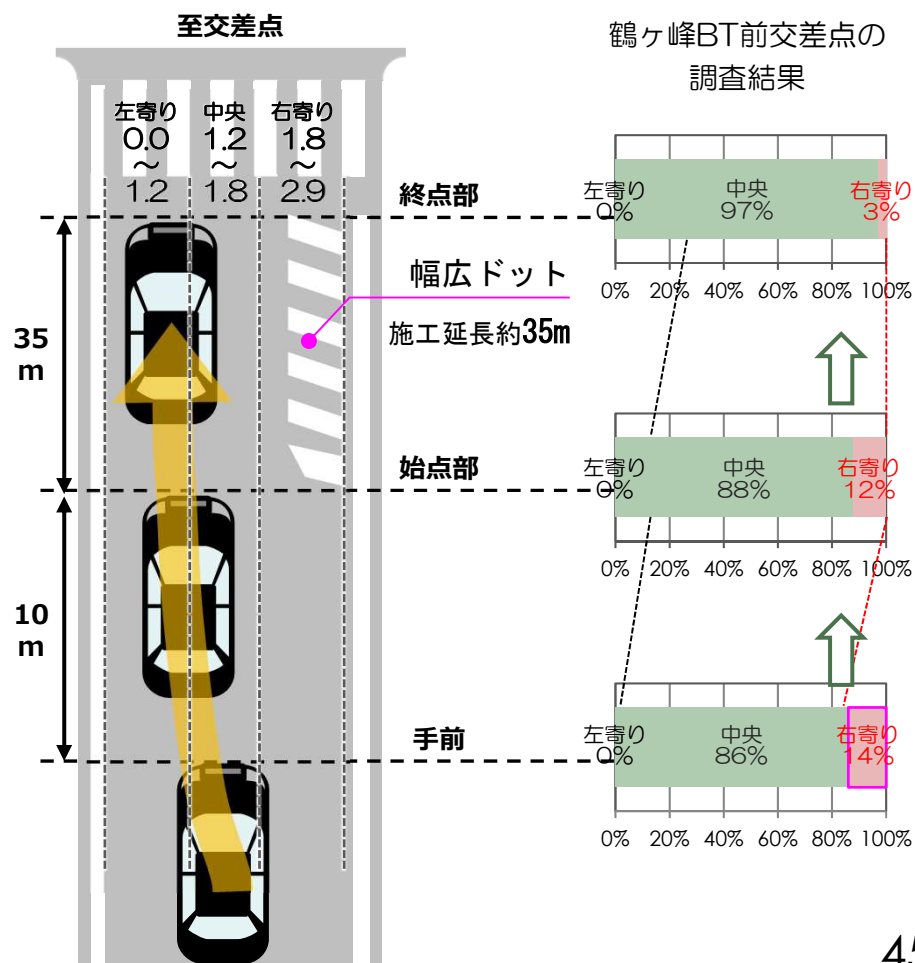
福泉寺前交差点

- ・ 施工延長約170m
- ・ 中央～右寄りであった走行位置が左寄り～中央にシフト



鶴ヶ峰バスターミナル前交差点:

- ・ 施工延長約35m
- ・ 中央～右寄りであった走行位置が中央にシフト



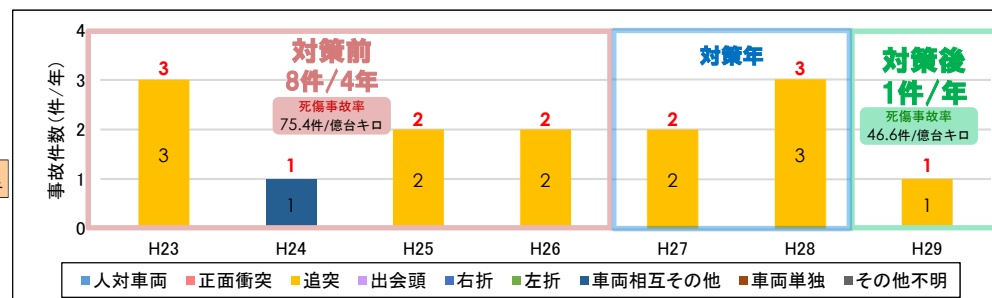
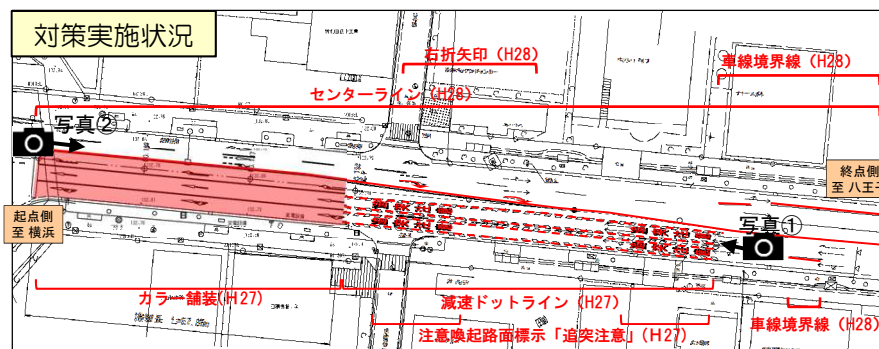
2. 事故ゼロプラン＜事故ゼロプランの進捗状況＞

・対策事例～追突事故対策～「国道16号 相模原市中央区 清新4丁目単路」

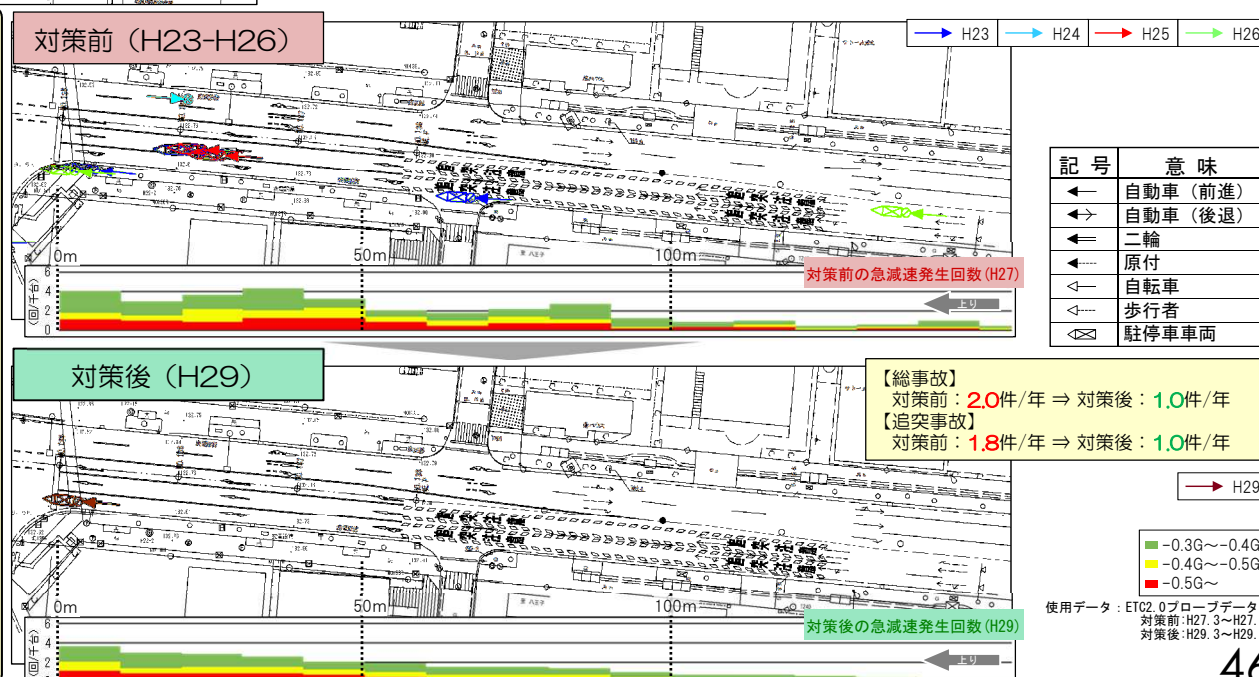
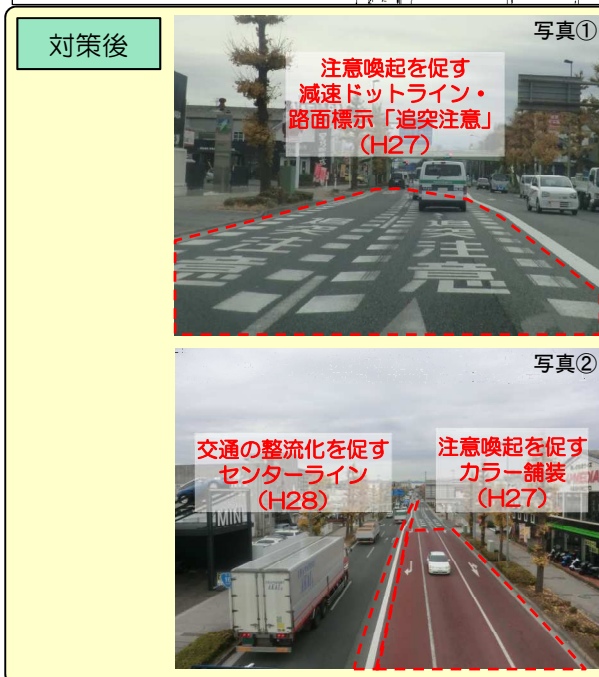
H28工事完了

相武国道

- 追突事故が多発しており、H27～H28年に減速ドットラインやセンターライン復旧等を実施。
- 対策実施後、総事故件数は2.0件/年から1.0件/年、追突事故が1.8件/年から1.0件/年に減少。
- 車線境界の明示化等、一連の対策により、交通の整流化が図られ急減速の発生も抑制され事故が削減。



使用データ：ITARDA事故別データ（H24～H28）、警察事故データ（H29）
※下記事故図の範囲内で発生した事故を読み取って集計した結果



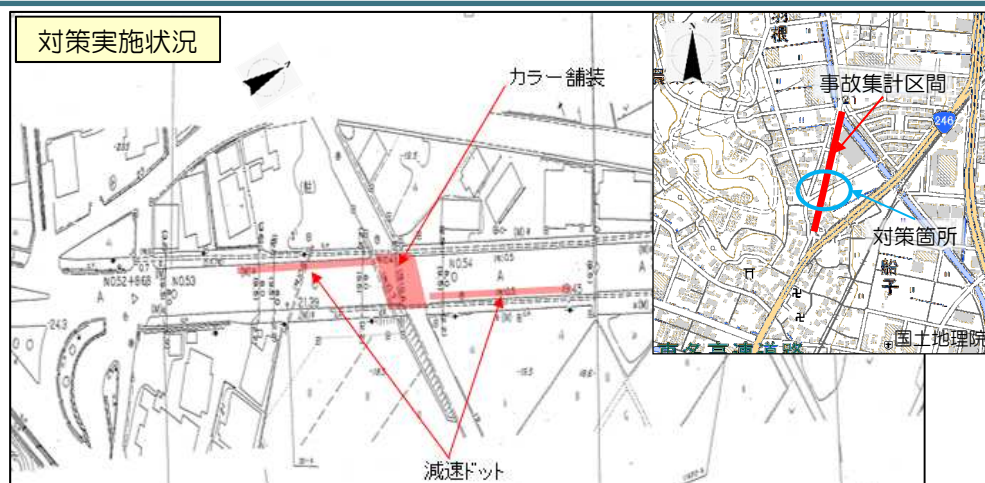
2. 事故ゼロプラン

・対策事例～ 県道603号 厚木市船子1169～1077番地

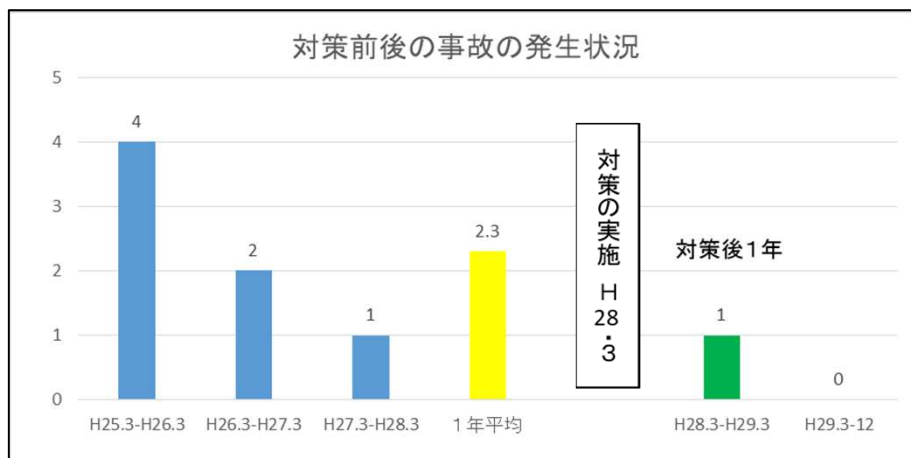
H28工事完了

神奈川県

- 交差点内での車両相互による事故が多発していたことから、カラー舗装による交差点の明確化と減速ドット標示による速度抑制対策を平成28年3月に実施。
- 対策実施前(過去3年間)の事故件数は年平均2.3件であったが、対策後(1年間)は1件に減少した。(H29年中の発生はなし)



対策前



対策後



2. 事故ゼロプラン

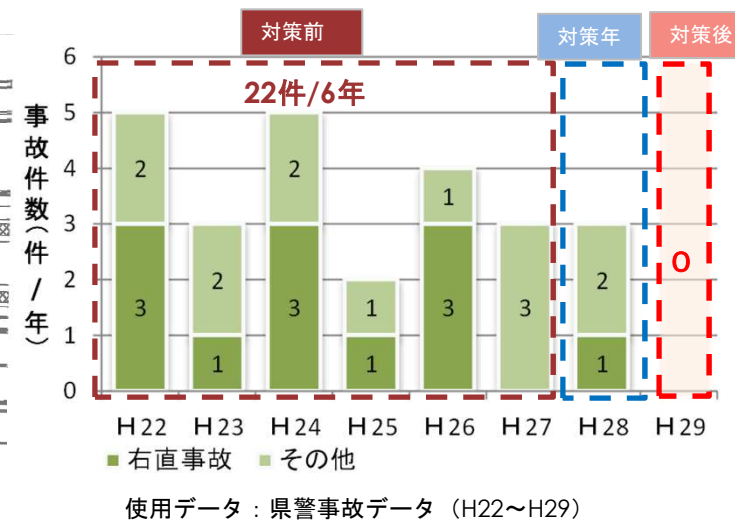
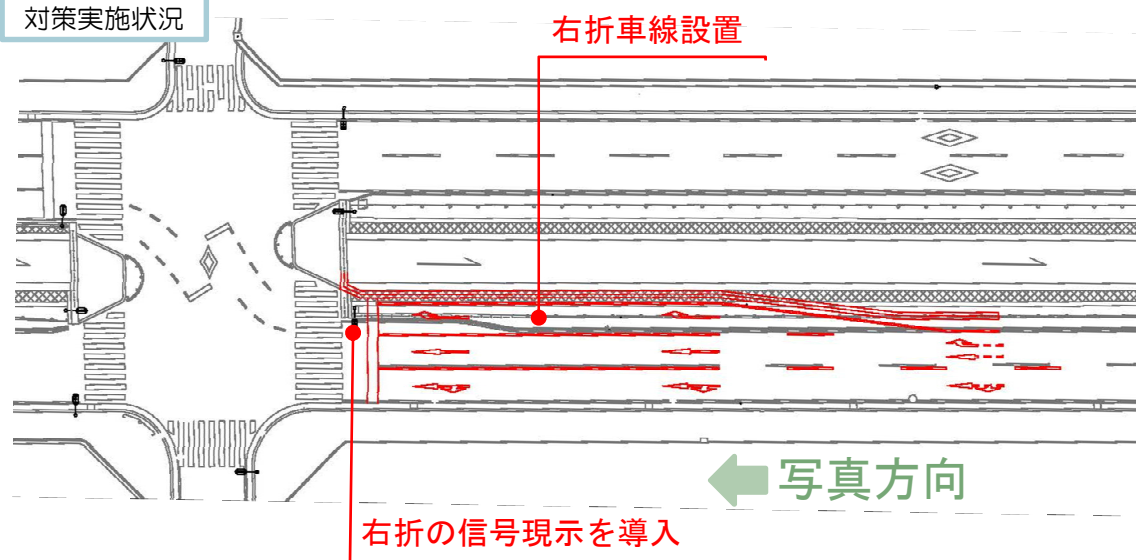
・対策事例～右直事故対策～「県道13号 横浜市青葉区 新橋交差点」

H28工事完了

横浜市

- 右直事故多発の交差点であり、右折車線を設置。
- 対策実施後、総事故件数は3.6件/年から0件、右直事故は1.8件/年から0件/年に減少。
- 右折の信号現示も導入し、右折時の事故を削減。

対策実施状況



2. 事故ゼロプラン

・対策事例～左折車速度抑止～

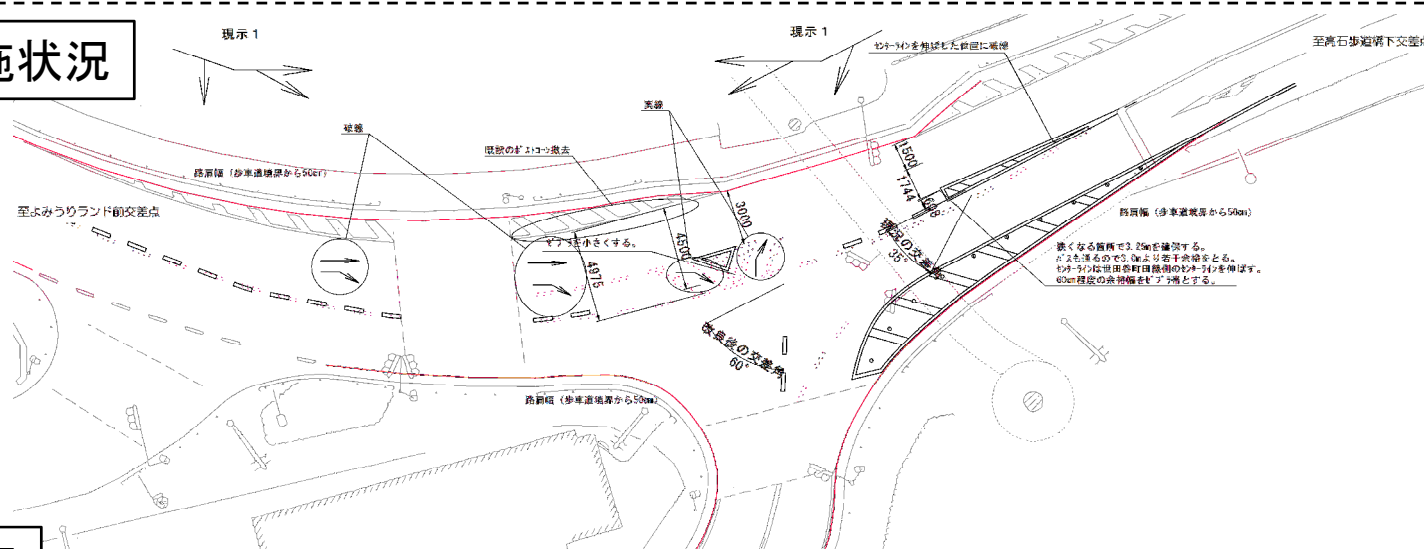
「一般県道稲城読売ランド前停車場
西生田小学校前交差点」

H29工事完了

川崎市

- ・ 交差角が60度以上となるよう中心線を設定し、ゼブラ帯を設置。
- ・ ゼブラ帯上にポストコーンを設置。（H29.12 施工）
- ・ 対策実施後、事故件数が0件。

対策実施状況



現場状況



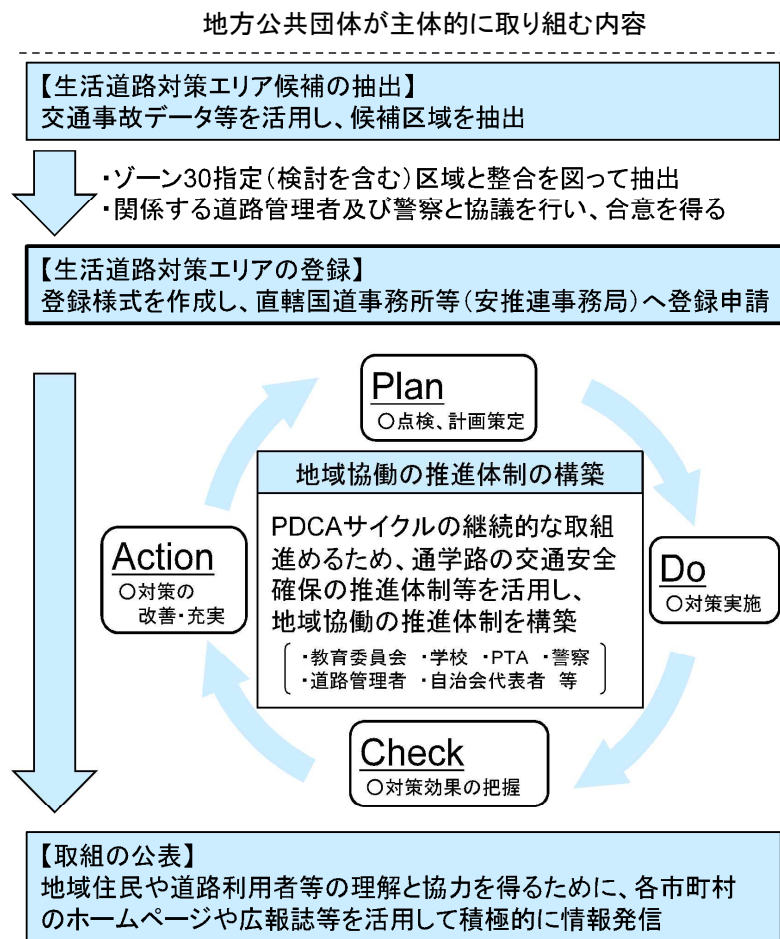
3. 生活道路における交通事故対策

＜対策エリアの概要＞

3. 生活道路における交通事故対策＜対策エリアの概要＞

- ・生活道路の対策エリア(H31.1月末時点)は、今年度に7エリアが新規追加され、15エリアとなった。
- ・横浜市緑区中山町地区では、速度抑制を目的とした物理的デバイス設置の社会実験を行った。

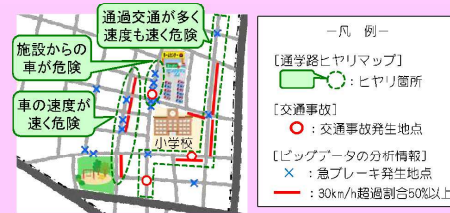
「生活道路対策エリア」の取組フロー



国等による情報提供・支援内容

【メッシュデータ等の提供】
交通事故総合分析センター(ITARDA)HPで生活道路の交通事故発生状況を公開
※地域メッシュ(約500m×500m)別

【技術的支援】
・ビッグデータの分析結果の提供
・通学路ヒヤリマップとビッグデータの分析結果の重ね合わせ



・可搬型ハンプの貸出し



・交通安全診断を行う有識者の斡旋

【財政的支援】
防災・安全交付金による支援

生活道路対策エリア一覧(15エリア) ■過年度までの登録エリア

市町村	地区名
横浜市	港北区大倉山3丁目
川崎市	多摩区菅4丁目地区
相模原市	橋本地区
大和市	林間1丁目・鶴間2丁目地区
鎌倉市	御成小学校地区
鎌倉市	稲村ヶ崎小学校地区
鎌倉市	第一小学校地区
小田原市	鴨宮地区

■平成30年度新規追加エリア

市町村	地区名
横浜市	緑区中山町地区
横浜市	泉区緑園地区
厚木市	戸室小学校地区
座間市	新羽根沢地区
綾瀬市	寺尾釜田地区
綾瀬市	寺尾西地区
綾瀬市	小園早川地区

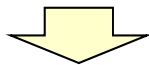
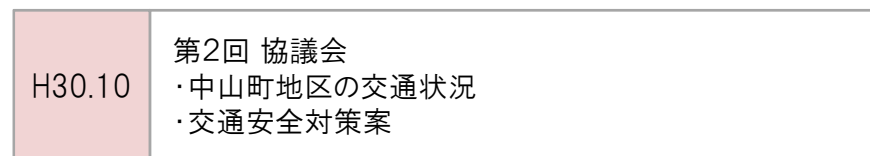
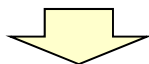
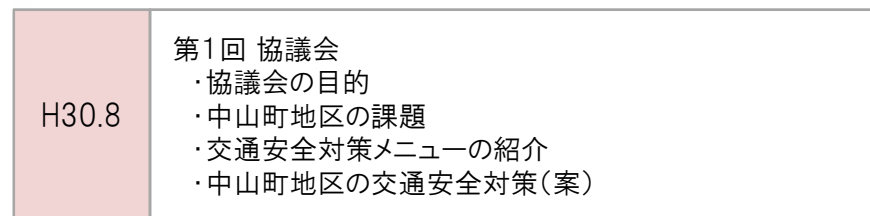
出典：国土交通省「生活道路の交通安全対策の概要」

3. 生活道路における交通事故対策

＜横浜市取り組み＞

3. 生活道路における交通事故対策＜横浜市の取り組み＞

・横浜市緑区中山町地区の社会実験



【社会実験の実施】

事前調査

- ・走行速度
- ・交通挙動
- ・交通量

H30.9月中旬



社会実験

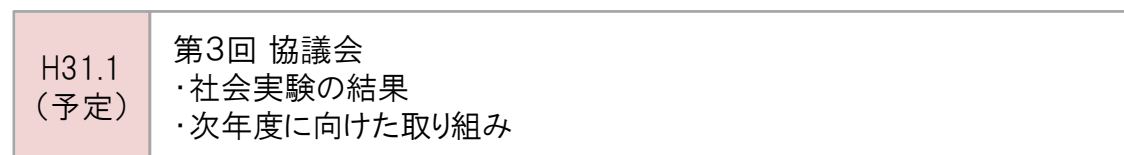
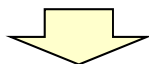
- ・スムーズ横断歩道
- ・ハンプの設置
- ・狭さくの設定

H30.11月20日～12月17日



効果測定

- ・走行速度
- ・交通挙動
- ・交通量
- ・アンケート調査



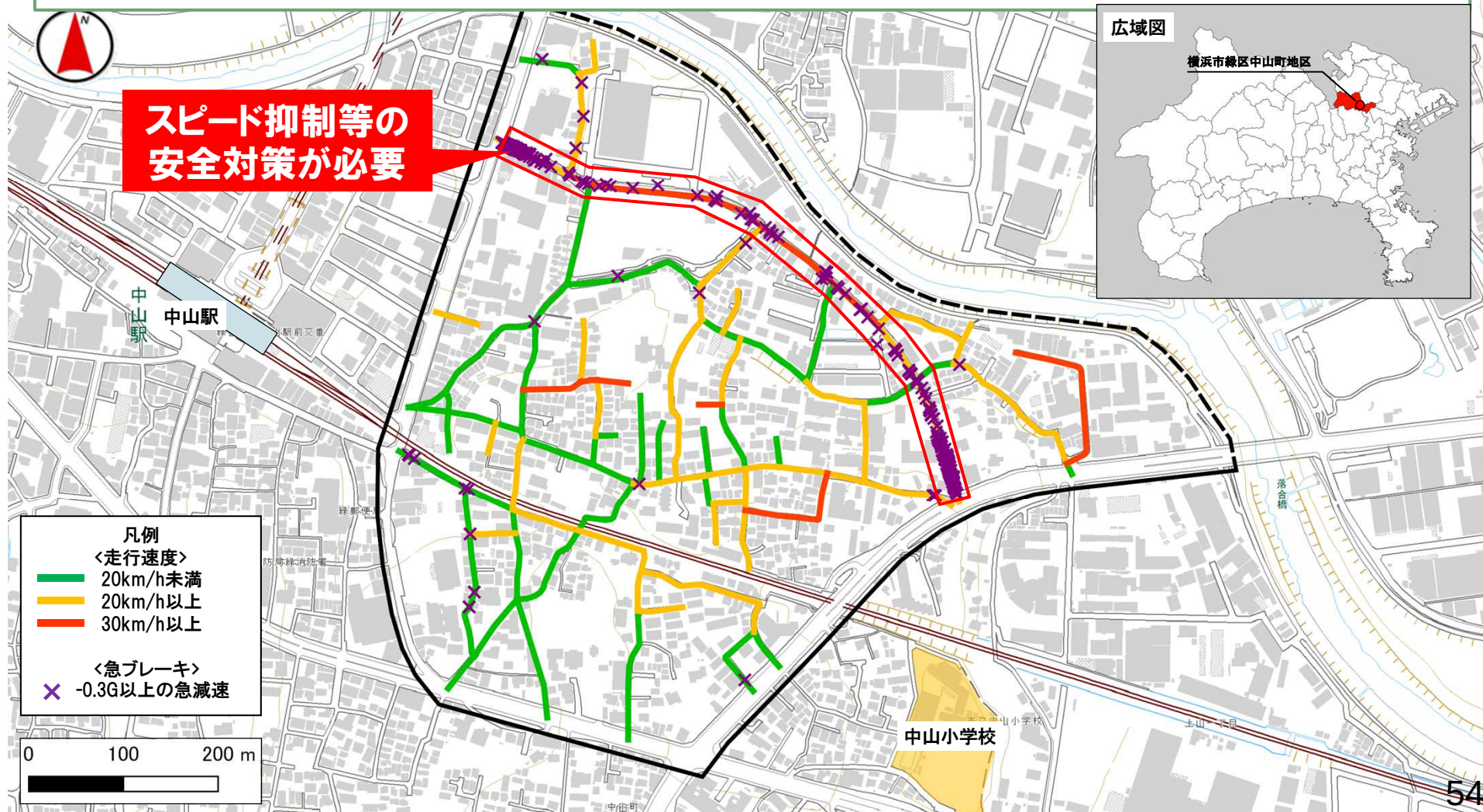
第2回協議会 (H30.10)



3. 生活道路における安全対策＜横浜市取り組み＞

課題

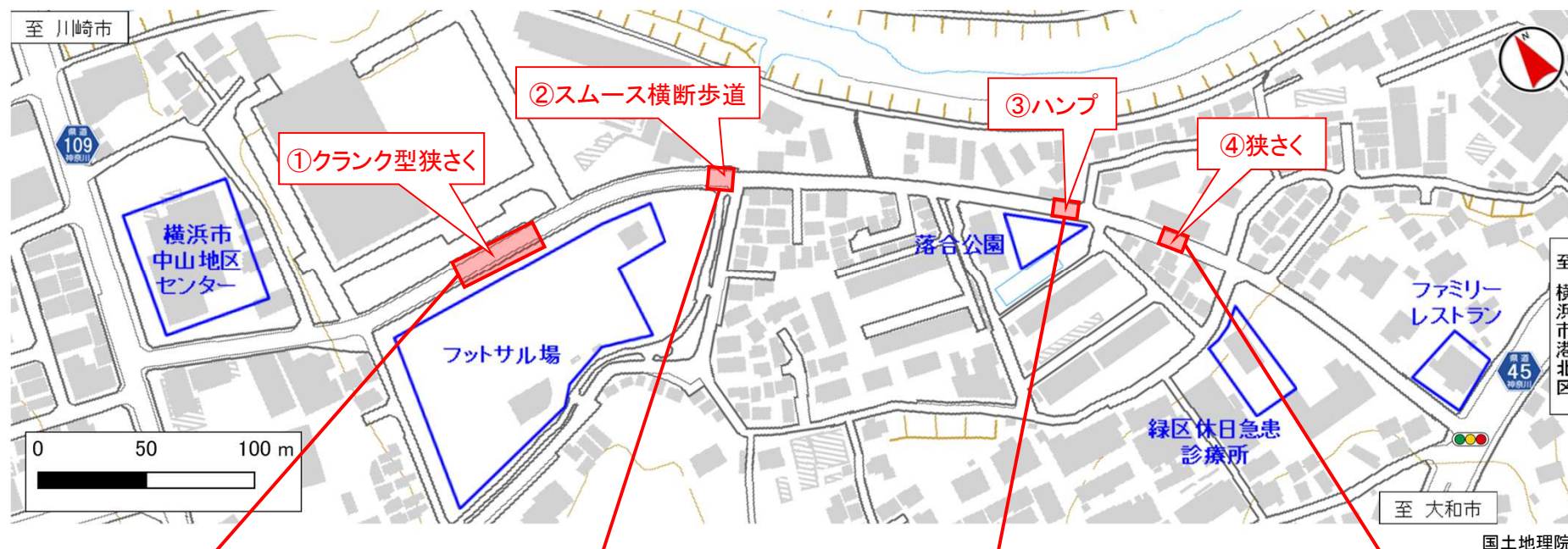
- ・横浜市緑区中山町地区の対策エリアでは、ETC2.0データを活用して分析した結果、自動車の走行速度が高く、急ブレーキが多く発生していることが分かった。
- ・このため、自動車の「スピード抑制」等の安全対策(スモース横断歩道、ハンプ、狭さく)を設置し、その効果を確認する社会実験を行った。(H30.11～12)



3. 生活道路における交通事故対策＜横浜市の取り組み＞

社会実験

・スムーズ横断歩道1箇所、ハンプ1箇所、狭さく2箇所を試験施工（平成30年11月20日～12月17日の約1ヶ月間）し、走行速度の抑制を目的とした社会実験を行った。現在、速度抑制等の対策効果を検証中である。



① クランク型狭さく



② スムース横断歩道



③ ハンプ



④ 狭さく



4. その他

＜関係機関の取り組み＞

NEXCO東日本の取り組み

＜高速道路の安全対策＞

交通安全対策[事故対策]

NEXCO

第三京浜道路 玉川IC Eランプにおいて、主に雨天時の速度超過が要因と考えられる事故が多数発生しており、段階的に追加安全対策を実施していく予定

【H29年度の対策内容】

大型矢印標識の追加**実施済**

大型矢印板

※高欄部に貼付

◇速度抑制対策



【H30年度以降の対策予定】

薄層舗装・減速レーンマークの施工(H30.12**実施済**)



注意喚起標識の設置
(H31.3月までに実施予定)



交通安全対策[立入対策]

NEXCO

○京浜管内の立入状況について(H27年1月～12月)
管内のIC立入状況については、保土ヶ谷ICからの立入が多い。特にFランプ(国大入口)からの立入が際立つ状況である。

⇒H29.3 保土ヶ谷ICの立入の多いランプへの立入防止システムの施行を実施済(保土ヶ谷A・F・H)

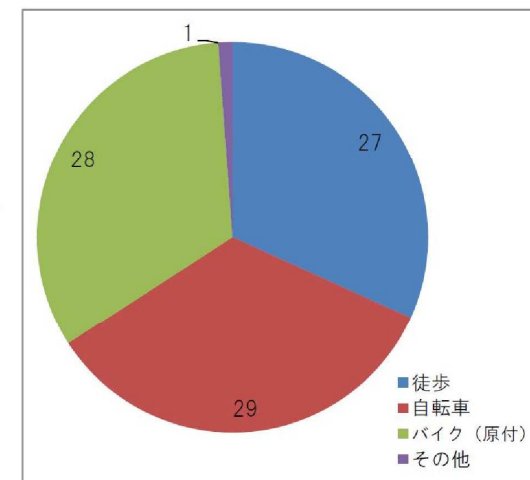
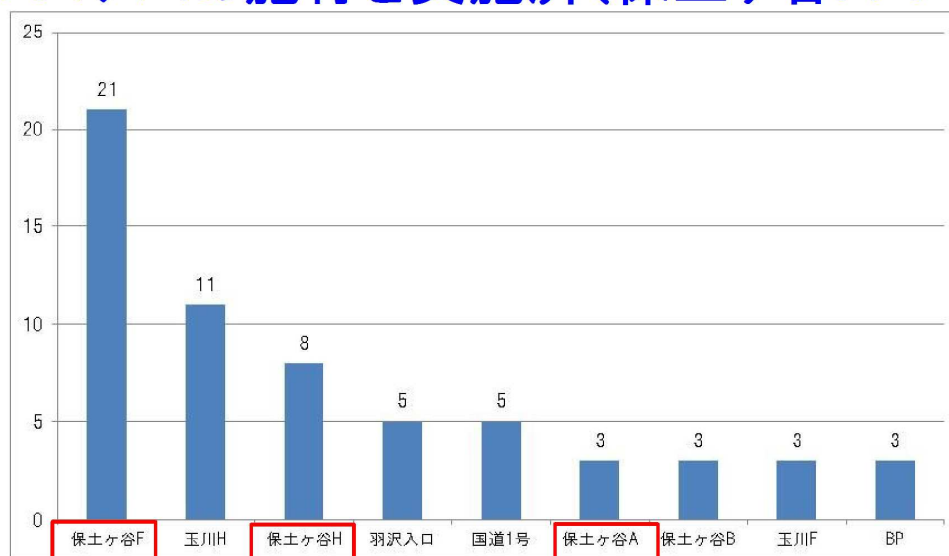


図-2 手段別立入状況



※玉川Hランプは対策実施済での立入

図-1 IC立入状況(年間)

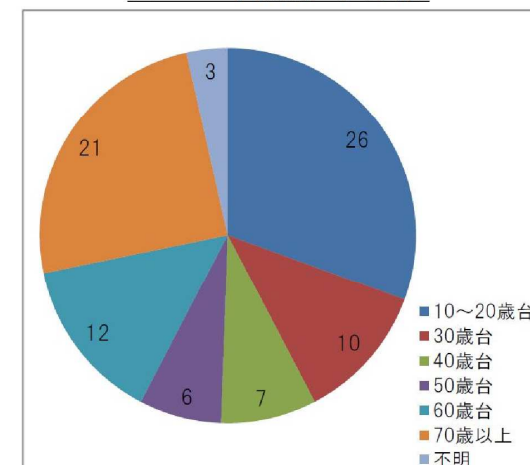


図-3 年代別立入状況



交通安全対策[正面衝突事故対策]



横浜横須賀道路の暫定二車線区間での正面衝突事故の緊急対策として、ラバーポールに代えてワイヤーロープを設置(H30.11)



横浜横須賀道路(佐原～馬堀海岸IC)



交通安全対策[逆走対策]

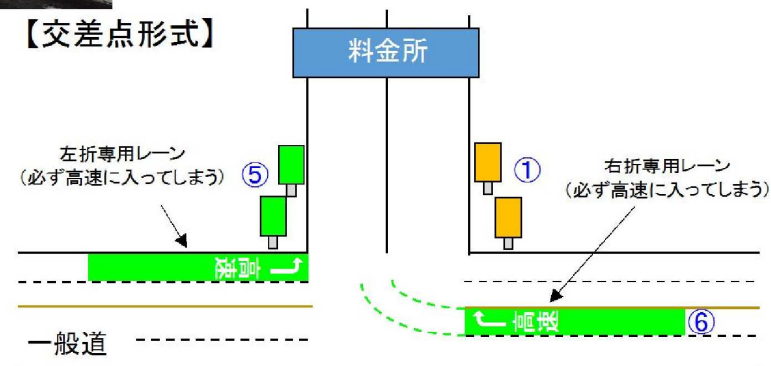


○H28 管内全線IC・PAの逆走対策を実施済み

○H29-H32 料金所前後の開口部閉塞強化及びさらなる逆走対策の追加実施



【交差点形式】



番号	凡例	対策工
①		進入禁止看板
②		高輝度矢印板
③		矢印路面標示
④		ラバーボール
⑤		高速入口看板
⑥		カラー舗装

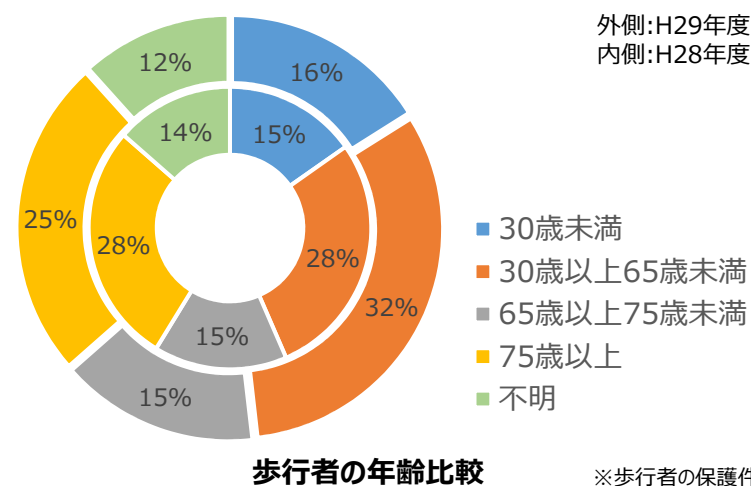
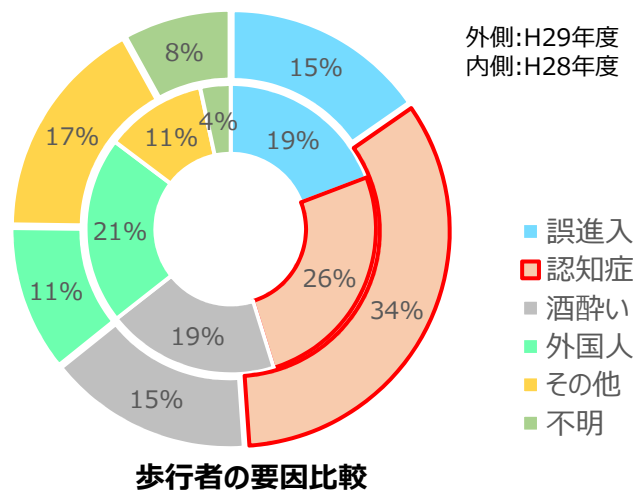
首都高速道路の取り組み

＜歩行者等立入・逆走対策＞

最近の歩行者等立入・逆走対策の実施状況及び今後の予定

【歩行者等立入件数】

- ・平成29年度の首都高速道路における歩行者・自転車・原付等の立入事案件数は 456件。
- ・そのうち、神奈川地区は 約100件。
- ・H30年11月末現在、今年度の神奈川地区での歩行者等の立入事案件数は 約70件。



※歩行者の保護件数により作成

【逆走件数】

- ・平成29年度の首都高速道路における逆走事案件数は 4件。
- ・神奈川地区では、料金所手前でUターンして街路へ引き返す事象が確認された。
- ・H30年11月末現在、今年度の神奈川地区での逆走事案件数は0件。

【歩行者等立入対策の実施】

- ・全出入口部への共通対策として注意喚起看板などを設置した上で、以下の更なる対策を実施。

○ 立入、逆走検知・警告システムの整備・運用

- ・神奈川地区において、平成29年度末までに選定した13箇所システムを導入し、運用中。
(歩行者等の立入実績が多い、料金所の無い出入口等を優先に選定。)
- ・現地での検知警告機能によって、現場から引き返す状況が確認されている。
- ・また、これまで確認されなかった歩行者立入状況の把握が可能となり、得られたデータを用いて、更なる対策の検討に活用しているところ。

[システム概要]

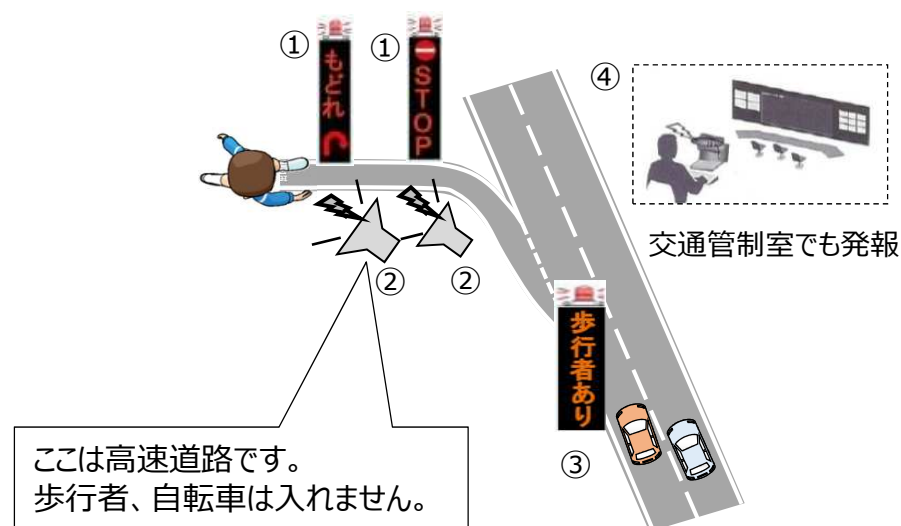
1)立入者等検知

- ⇒ ①警告表示板・回転灯、
②スピーカーからの音声により警告 (2箇所)
- ⇒ 本線順走車にも③警告表示板・回転灯で警告

2)同時に、④交通管制室で発報

3)保護のため、交通パトロールカーが現場に出動

4)警告表示等に気づかず進入した立入者等を保護



○ 歩行者視点に立った立入防止対策の検討、実施

(実施事例の紹介)

- ・H29年度に高齢者の立入が多い **B** 湾岸線 浮島入口、**K1** 横羽線(下) 大師入口において、路面への黄色カラー塗装を試行導入。
- ・高速道路区域外の対策として **K1** (上) 大師入口に原付進入防止を図る誘導線を設置。

B 湾岸線 浮島入口



K1 横羽線(上) 大師入口



神奈川県警察本部の取り組み

＜横断歩道に近接するバス停留所に係る安全対策について＞

1 概要

平成30年8月30日、横浜市西区の横断歩道に近接するバス停留所周辺で発生した交通事故を受け、事故発生翌日から、類似のバス停留所が県内に存在するか調査を開始しました。

県警察では、停留所周辺の交通の危険の度合いに応じて、危険度が高い順に「A」、「B」及び「C」の三段階で判定しており、現在、バス事業者及び道路管理者の皆様の協力のもと、以下の安全対策に取り組んでいます。

2 危険度の判定結果及び判定基準について

【判定結果及び判定基準】

判定対象数	危険度	停留所数	判 定 基 準 等
84	A	1	過去3年以内で、停車した路線バスが原因となる人身交通事故が発生している停留所
		8	指定項目（※）の合計点数が平均以上で、アまたはイに該当する停留所
			ア ・横断歩道を利用する児童の人数が84箇所の平均以上 ・路線バスが停車した際、横断歩道を全部塞ぐ
			イ ・横断歩道を利用する児童の人数が84箇所の平均以上 ・路線バスの一日の運行本数が84箇所の平均以上
	B	32	指定項目の合計点数が平均以上
	C	43	指定項目の合計点数が平均以下
判定対象外		3	バス停留所が移設されたこと等により、3箇所の停留所を判定対象外とした。

※ 指定項目は、警察署で調査した停留所周辺の交通実態に係る項目のうち、危険度を判定する上で目安となる項目（交通量や通学路に該当するか等）として交通規制課で選定したもの。

3 安全対策について

(1) 合同現地診断の実施及び安全対策の検討

昨年12月には、84箇所のバス停留所について、警察、道路管理者及びバス事業者の三者による現地診断を実施して、横断歩道とバス停留所の距離関係を見直すことを基本方針として安全対策を検討いたしました。

現在、検討した安全対策に基づき、バス停留所の移設等を実施しています。

(2) 短期的な安全対策の実施

危険度が「A」と判定したバス停留所について抜本的な安全対策を直ちに講じることが困難な場合には、立看板の設置や車内アナウンスの実施など短期的に実現可能な安全対策を講じています。

※ 危険度「B」、「C」のバス停留所についても、同様の安全対策を講じています。

4 その他

危険度の判定結果及び判定基準については、11月28日、報道発表いたしました。

4. その他＜今後の予定＞

今後の予定

	開催時期	議題(案)
第18回 委員会	2019年12月(予定)	1. 神奈川県ของ事故特性 2. 事故ゼロプランの取り組み ・事故ゼロプランの進捗状況 ・対策区間の追加および完了 3. 生活道路の安全対策 4. その他 ・関係機関の取り組み 5. 今後のスケジュール